

令和 6 年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 ノマド福祉会

目 次

第1	法人全体の取り組み	1
第2	法人本部	3
1	取組状況	3
2	理事会および評議員会の開催	3
(1)	理事会開催状況	3
(2)	評議員会開催状況	4
3	監事監査等実施状況	5
4	行政監査等実施状況	5
5	その他	6
第3	事業別取組状況	6
1	介護老人福祉施設	6
(1)	生活相談員部門	6
(2)	介護部門	7
(3)	看護部門	9
(4)	給食部門	10
2	短期入所生活介護	11
3	通所介護	12
4	認知症対応型通所介護	14
5	居宅介護支援	15
(1)	取組状況	15
(2)	事業所別要介護度別給付管理状況	17
6	認知症対応型共同生活介護	17
7	軽費老人ホーム（ケアハウス）	18
8	地域包括支援センター	18
(1)	取組状況	18
(2)	事業状況	19
9	コミュニティケア事業	21
(1)	取組状況	21
(2)	事業状況	23
10	地域交流事業	23
第4	職員研修	24
(1)	取組状況	24
(2)	実施状況	25

第1 法人全体の取り組み

◎各事業の稼働上昇に向けて

新型コロナの影響による稼働率低下から脱却を目指し、法人内居宅はもちろんのこと、積極的な営業活動を行うなど、外部の居宅等関係機関との連携強化も図った。

その結果、入所系では特養事業及びケアハウス事業は概ね安定した運営状況となったものの、ショートステイ事業では藤野拠点が介護職員不足のために一時事業を中止、また、小樽、発寒拠点では利用者の新型コロナ感染者の発生に伴い、十分な稼働回復までには至らなかった。

また、グループホーム事業は入居を希望する待機者の減少もあり、令和5年度実績を上回ることではできなかった。

一方、通所系のデイサービス事業については、発寒、藤野の併設型DSが安定しているものの、小樽併設型及びサテライトDSについては、稼働率が80%に達しない月もあり、法人の収支に大きな影響を及ぼした。

そのため、デイサービス事業における新規利用者の獲得や利用回数の増加等に対する対策が求められている。

◎職員確保の新たな取り組みと次世代育成の継続

慢性的な介護職員不足の解消に向けて、外国人技能実習生の受け入れを開始したほか、藤野拠点をモデルとして、「介護・福祉特化型採用コンサルティング」会社の「medica」と7月から12月までの6カ月間委託契約を結び、人材確保に取り組んだ。

外国人技能実習生については、8月にインドネシアから7名が来日し、各拠点の特養施設において介護技術の指導を受けながら業務に従事している。

「medica」に関しては、そこからの採用には至らなかったものの、人材募集サイト等における露出が増え、藤野拠点への応募者の増加につながる結果となっている。

また、発寒拠点では、専門学校からの実習生がそのまま就職するケースもあった。

ただし、まだ十分な職員確保には至っておらず、介護を目指す人材が減少していく中、確実な職員確保に向け、様々な新たな取組について、令和7年度も検討していく。

「課・係体制」導入により、組織内の指揮系統が明確となり、役職者等の業務に対する意識や姿勢、責任感が向上し、次世代のリーダー育成のひとつのツールとなっている。今後も研修というソフト面と組織というハード面を併用、活用しながら、人材の育成や、職員全体の質の向上に努めていく。

◎業務の棚おろし対象事業の拡大と ICT 等の更なる推進

デイサービス事業の「業務の棚おろし」を令和 5、6 年度の 2 年間で実施し、会議やミーティング時間の短縮、不要なサービス対応職員の減、業務内容の見直し等を行なうという結論に至ったほか、令和 6 年度は、介護職員以外の特養職員業務の洗い出し、見直し検討も行った。3 月にはそれら「棚卸し」結果を各対象職員に伝達し、対応を指示したが、業務の削減等「棚卸し」効果については、令和 7 年度 1 年間の状況を見て判断する。

また、介護現場の負担軽減と安心して働ける環境作りを目的として、北海道の補助金を活用し、Wi-Fi 環境の整備や見守り機器、介護記録ソフト等の導入を行った。これら ICT 機器等の導入は、今後も拡充すべきものと認識しているが、機器単価が高いため、厳しい法人の収支状況を見据えたうえで対応していく。

◎拠点を超えた人事交流と情報共有の促進

拠点間の職員配置の偏り是正、職員資質の均一化を目的とし、介護職員をはじめとする専門職の活発な人事異動を目指したが、各拠点とも欠員を抱えているとともに、職員自身が異動を望まない状況にもあり、結果として、拠点間の職員異動はゼロであった。

ただし、オンライン会議や研修等を活用し、拠点を越えた職員間の情報の交換や共有を進めることはできたことから、異動を妨げる要因を分析し、それらを除去する対応策について検討していく。

また、「自己申告・面談制度」を施行し、職員の相談・支援体制を整備したことにより、各職員が抱える課題や問題点を抽出し、それらに対する法人としての対応策の検討ができ、その中から、医療機関との「メンタルヘルス対策」のサポート契約につながった。

◎利用者本位と QOL の向上の実現

当法人は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供することを目的としているが、新型コロナの感染拡大以後、様々な条件付き対応を取らざるを得ない状況となった。令和 5 年度に新型コロナが 5 類に移行したことを踏まえ、徐々にそれら条件を緩和してきたが、高齢者が感染症に対してハイリスクであることに変わりはなく、職員にとっては、利用者・家族に対して非常に難しい対応が求められてきた。

そのような中、特養等入所施設における面会対応について、利用者・家族等の希望を考慮して感染対策を十分に行い、利用者の健康に配慮した上で、ホール等での面会から居室での面会を可能としたほか、利用者ニーズに沿う形で、ショートステイ事業では、家族等の介護負担を軽減するレスパイト目的の短期利用の受入枠を拡大、デイサービス事業ではこれまでも好評であった外出レクリエーションなどの再開に取り組み、制限のある中、法人目的に少しでも近づけるよう努めてきた。

第2 法人本部

1 取組状況

理事会は、令和6年6月に第1回を開催し、以下計4回開催した。

内容としては、第1回は、主に事業報告・決算に関する件及び小樽拠点でのエアコン設置工事に関する資金借入に関する件。第2回及び第3回では、各種規程の一部改正の件、第4回では、定款の一部変更、令和7年度の事業計画・当初予算に関する件について、審議を行い、いずれの回においても承認を得た。

評議員会は2回開催し、令和6年6月の第1回は事業報告・決算、令和7年3月の第2回は、定款の一部変更、令和6年度の事業計画・当初予算に関する審議を行い、いずれも承認を得た。

2 理事会および評議員会の開催

(1) 理事会開催状況

第1回

- 開催年月日 令和6年6月5日
- 出欠状況 理事 9名全員出席 監事 2名全員出席
- 議事内容
 - 審議事項 第1号 令和5年度事業報告について
 - 第2号 令和5年度補正予算について
 - 第3号 令和5年度決算報告について
 - 第4号 各種規程の一部改正について
 - 第5号 エアコン設置資金の借入について
 - 第6号 定時評議員会の招集について
 - 報告事項 第1号 令和5年度決算に関わる社会福祉充実残額について
 - 第2号 理事長及び業務執行理事の職務執行報告について
 - 第3号 監事監査の結果報告について
 - 第4号 運営状況報告について
 - 第5号 見積合わせ結果について
 - 第6号 公益財団法人 JKA2023 年度オートレース公益資金による補助事業完了報告について

第2回

- 開催年月日 令和6年10月7日

○ 出 欠 状 況 理事 9 名全員出席 監事 2 名全員出席

○ 議 事 内 容

審議事項 第 1 号 各種規程等の改正について

報告事項 第 1 号 各事業所の指導監査について

第 2 号 理事長及び業務執行理事の職務執行報告について

第 3 号 監事監査の結果報告について

第 4 号 運営状況報告について

第 3 回

○ 開催年月日 令和 7 年 2 月 4 日

○ 出 欠 状 況 理事 9 名全員出席 監事 2 名全員出席

○ 議 事 内 容

審議事項 第 1 号 諸規程の一部改正について

報告事項 第 1 号 各事業所の指導監査について

第 2 号 理事長及び業務執行理事の職務執行報告について

第 3 号 監事監査の結果報告について

第 4 号 運営状況報告について

第 4 回

○ 開催年月日 令和 7 年 3 月 13 日

○ 出 欠 状 況 理事 9 名全員出席 監事 2 名全員出席

○ 議 事 内 容

審議事項 第 1 号 定款の一部変更について

第 2 号 令和 6 年度補正予算について

第 3 号 令和 7 年度事業計画について

第 4 号 令和 7 年度当初予算について

第 5 号 賞与資金の借入について

第 6 号 評議員会の開催について

報告事項 第 1 号 理事長及び業務執行理事の職務執行報告について

第 2 号 運営状況報告について

第 3 号 見積合わせ結果について

(2) 評議員会開催状況

第 1 回

○ 開催年月日 令和 6 年 6 月 21 日

○ 出 欠 状 況 評議員 10 名中 7 名出席 理事 7 名出席

○ 議 事 内 容

- 審議事項 第1号 令和5年度事業報告について
 第2号 令和5年度補正予算について
 第3号 令和5年度決算報告について
 報告事項 第1号 運営状況報告について

第2回

- 開催年月日 令和7年3月29日
 ○ 出欠状況 評議員 10名中9名出席 理事7名出席
 ○ 議事内容

- 審議事項 第1号 定款の一部変更について
 第2号 令和6年度補正予算について
 第3号 令和7年度事業計画について
 第4号 令和7年度当初予算について
 報告事項 第1号 運営状況報告について

3 監事監査等実施状況

実施日	監査種別	監査内容	実施場所
令和6年5月30日	監事監査	令和5年度事業執行状況監査	特養はっさむはる
令和6年5月29日	監事監査	令和5年度事業決算会計監査	特養はっさむはる
令和6年7月30日	監事監査	令和6年度第一四半期会計監査	特養はっさむはる
令和6年10月29日	監事監査	令和6年度第二四半期会計監査	特養はっさむはる
令和7年1月24日	監事監査	令和6年度第三四半期会計監査	特養はっさむはる

4 行政監査等実施状況

	実施日	監査名	対象事業所
小樽	令和6年8月22日	小樽市地域密着型サービス事業所運営指導	グループホームはる
	令和6年10月25日	介護保険法による運営指導	特別養護老人ホームはる 短期入所生活介護はる
	令和6年10月25日	老人福祉法に係る一般監査	特別養護老人ホームはる ケアハウスはる
発表	令和6年7月26日	社会福祉施設の指導監査	特別養護老人ホームはっさむはる 短期入所生活介護はっさむはる
	令和6年8月7日	指定介護予防支援事業所運営指導	札幌市西区第3地域包括支援センター
	令和6年11月13日	通所介護・第1号通所事業所の運営指導	デイサービスセンターはっさむはる

5 その他

○ 北海道社会福祉フォーラムへの参加

市民と共に創る福祉社会の実現を目指して、複数の異なる分野の社会福祉法人が共同で実行委員会を立上げ、2010年より毎年開催している「北海道社会福祉フォーラム(旧「札幌社会福祉フォーラム」)」の構成メンバーとして令和6年度もテーマ選定から運営に携わった。

令和6年度は、フォーラム開催15周年ということで、法人の地域活動について職員が報告するとともに、「パネルディスカッション」のパネリストも務めた。

【令和6年度 開催内容】

≪開催テーマ≫

『これからの北海道の社会福祉を考える ～みんなで創るケアの世界～』

≪開催日・場所≫

令和6年10月19日(土) ウィスティリアホール及びオンライン開催

第3 事業別取組状況

1 介護老人福祉施設

【実施事業所】

拠点	事業所名	定員	開設年月日
小 樽	特別養護老人ホームはる	80名	平成9年8月1日
発 寒	特別養護老人ホームはっさむはる	80名	平成18年9月1日
藤 野	特別養護老人ホームらいらく	80名	平成19年10月16日

(1) 生活相談員部門

【小 樽】

利用者の意向を尊重し、家族にも安心していただけるように、要望の多い面会制限の緩和を進め、利用者と家族がより交流できるように努めるとともに、相談員として利用者の立場に立った支援ができるように、法人内の他拠点の情報を相談員間で共有し、家族ニーズの分析や苦情に対する対応方法など、提供しているサービス内容の充実を図った。また、他の事業所で入所の受入を断られた在宅での生活が困難な利用者の受け入れを行い、地域での存在感を示すことができた。

平均稼働率はロングショートからの繰り上げ入所により98.8%と高稼働であり、退

所者数も 32 名で前年度 37 名に比べると減少した。積極的に営業を行うことにより、病院との繋がりはできたが、外部の居宅事業所との繋がりが薄く、関係性構築が課題となった。

【発 寒】

感染対策を徹底することで 5 月から居室による面会を再開したほか、5 年ぶりに家族懇談会を開催し、家族との情報の交換や共有を密に行うことできた一方で、家族から職員に対する様々な苦情もあり、真摯な態度や関係構築等の職員指導が課題となった。

地域住民や近隣保育園等との地域との交流は、感染対策のため未実施に終わったが、外気浴や 5 年ぶりの外出行事を行うことで、利用者が日常生活の喜びや楽しみを感じる機会を設け、社会との関りを持つことができた。

入居申込待機者については近年の減少傾向に歯止めをかけるべく、積極的な見学の受け入れや居宅事業所への営業を月 5 件程度行った結果、待機者数は 35～45 名で推移し、年度末には 47 名までとなったが、前年度より 7 名の減少となった。

前年度より入退居といった利用者の移動は減少しているが、平均稼働率は 97.7%で予算稼働達成とはならなかった。

【藤 野】

利用者及び家族との連携を密にし、信頼されるケアを実施していくために、相談支援職として多職種と情報共有を行い、日常の些細な変化などに対し、常に連絡や面会時の声かけを実施したが、ケアの質を問われる苦情があり家族の思いに寄り添えていなかったこともあった。ただし、業務の棚おろしにより、自らの業務を洗い出すことができ業務の平準化を図ることができた。

安定した稼働を目指し、入居切り替えは退居者のあった翌日に行うことを心がけるとともに、入所判定に関しては、待機者数が少ないことから申し込みを断ることはなく入居案内に繋げていったが、利用者の年間入院日数が 629 日間と多く、平均稼働率は 97.8%に留まった。

地域に向けた取り組みとして、施設の P R のための関係機関訪問を行ったが、予定としていた施設独自の介護相談会は準備不足もあり、今年度は実施できなかった。

面会については利用者と家族が向き合える環境を整えたが、感染対策による一部制限も残っていることから通常面会に向けて継続した協議を行った。

(2) 介護部門

【小 樽】

利用者が生きがいを持って暮らし、職員も生き生きと目標を持って働くことのでき

る施設を目指し、施設の中で楽しめる行事やレクリエーションを積極的に実施するとともに、軽作業やリハビリなどを通じて、利用者が生きがいや役割、目標を持っていたくように努めた。

新たな知識やスキル習得のため、職員の研修機会を増やすことを目指したが、人員不足の影響もあり、外部研修にはあまり参加ができず、法人内での研修に留まった。一方、役職者を中心にケアの活性化を図るため、チームとして観察力やデータ分析を意識した声かけを行ったが、職員の知識や技術に偏りや不足が見られ、新人職員の模範となるべき中堅者の育成にも課題があり、マニュアルの更新や育成・指導方法の見直しが必要な状況が続いた。

また外国人人材を8月からインドネシア人2名の受け入れを開始し、今後も計画的に拡大していく。

【発 寒】

専門学校1校2学年4名の実習生を受け入れることができ、そのうち1名を採用に繋げることができたが、今後、介護職員養成課程が廃止になる学校もあり、実習生の受入継続に向けた新たな対策が必要となっている。

9月に外国人人材のインドネシア人2名を採用するなど、年度末には職員数も増加し、充足しつつあるも、「北海道働きやすい介護の職場認証制度」については、全事業所の認証には至らず実現できなかった。

薬剤事故が前年度に引き続き10件と多い状況にあり、事故防止委員会を中心に「薬のセットから内服」までの確認状況を簡素化、マニュアルの見直しを行ったほか、サービス支援課長中心に、事故防止のため意識を高める取り組みの検討や、カンファレンスにて多職種による分析などを行っているが、その対策は翌年度に持ち越されている。

【藤 野】

日々の情報から根拠あるケアを提供できるように多職種と連携しニーズ把握に努めるとともに、新たに開始した定山溪病院の嚥下診療情報をもとにした情報を多職種と共有しながら食事の提供方法の見直しを行うことで、職員は適切な介助の知識を得て、利用者への安全な食事提供に繋がっている。

介護職員の業務軽減と効率化を推進するため、記録ソフトと連動したスマートフォンや、ケア業務の効率化と負担軽減には睡眠状況や行動を把握できる「眠りSCAN」を導入し、利用者の状況に合わせたケアと見守りにより効率的な業務に繋がるとともに、立位をサポートする介護ロボット「Hug」や、全介助が必要となる利用者に対する床走行式リフトの導入を行い、身体的負担の軽減を行った。

事故発生の都度カンファレンスで対策を検討し、ニーズに適した対応策になるよう多職種と密に連携と情報共有を行ったが、転倒転落事故や薬剤事故は減少したものの、

外傷変色事故が増加し、事故総数としては前年度より増加した。

家族との関係構築のため、利用者の心身の情報を提供するなど、介護職員でできることは適宜報告した。また外国人人材はインドネシア人3名を採用することができ、今後とも計画的に拡大していく。

(3) 看護部門

【小 樽】

看護体制は高齢化が進んでいるため、今後、円滑な世代交代、採用、退職回避ができるように多職種と協力し業務内容の見直しなどに取組んだものの、長期的に安定した職員体制とはなっていない。そのため、派遣職員を活用し、配置を下回る状況は回避できているが、今後も継続して看護職員確保が課題となっている。

対面での面会を再開したが、6、12月にクラスターが発生。しかしながら、利用者、家族の希望や社会情勢を踏まえ、さらなる面会制限を緩和することとしており、引き続き感染症対策の検証、検討を行っていく。

【発 寒】

重症度の高い利用者が多い中、宮の森記念病院の協力により24時間体制での相談対応ができたことから、利用者の健康の適切管理やその人らしい看取りケアができた。

また、対面による家族面会が再開となり、検査結果や医師の指示を直接説明することや家族の想いを聞くことができ、専門職としての支援と家族との信頼構築ができた。

「標準予防策」として、新型コロナウイルスだけではなく、様々な感染症に対し感染症対策委員会を中心に基本的な対応を徹底し、研修や訓練をした結果、新型コロナウイルスの利用者感染は0名であったが、インフルエンザは利用者2名が罹患した。

組織体制の改正に合わせ業務整理と時間管理を見直し、チーム協力の結果で看護職員の残業時間を削減、概ね「希望休」と「年休」を取得でき、働きやすい職場となりつつある。引き続き、離職に繋がらないよう働きやすい環境を整えていく。

看護職員の薬剤事故4件、ヒヤリハット5件が発生。薬を扱うことは多く、命に直結するものであるという意識を持ち、委員会からの提案があった「今日も薬事故0で行きましょう」と毎日唱和することで、事故防止に取り組む。

【藤 野】

人員不足の状況にもあったが、他職種の協力もあり乗り切ることができた。現在は、看護職員の年齢幅も広がり、またパート職員含め6名体制となったことで入浴介助や食事介助等の業務も可能となり、結果、より利用者の健康状態の把握やユニット職員との信頼関係の構築にも繋がった。

感染症対策については、委員会を中心として「標準予防策」を実施した結果、感染拡大を防止することができたが、褥瘡ゼロの目標の達成ができず、スキンテアからの皮膚トラブル、治癒しても同じ部位に繰り返し褥瘡ができる状況があり、この点については、今後も多職種と連携し予防に努めていく必要性がある。

新たに口腔衛生の重要性、嚥下機能の維持、肺炎予防等について定山溪病院歯科医師、ST からの指導や助言をいただくことで知識の向上と利用者への安全な食事提供に繋がった。

利用者にとって日常に楽しさを感じてもらえるよう季節毎の行事にも積極的に参加し、夏祭りは2年連続で看護リハ係が中心となり、多職種の協力を得ながら開催することができ、利用者の笑顔が私たち職員の原動力であることを確信できた。

(4) 給食部門

【小 樽】

多職種連携の強化と歯科医の協力もあり、新たな加算の算定も可能となるなど、利用者の経口摂取維持の目標は達成できたと考えているほか、看取り期には本人の希望に沿った食事を最後まで提供できた。

食材費が高騰するなど、食事の一定レベルの質の確保には苦慮した。

【発 寒】

オンラインではあるが外部研修や法人職種別の研修（災害時の食事、褥瘡対策）に参加することができ、知識を高めることができた。

「喫茶はるの提供方法変更」、「お寿司の実演再開」等、ユニット内での調理実演の行事を多く行い、利用者の反応や職員からの情報を得て、利用者の状況を把握し今後の食事提供に活かすことができた。

献立については、食材費高騰のため旬の食材を取り入れた献立を作成するのが難しい状況であり、味付けや提供方法の工夫をして季節を感じ、楽しんでもいただけるよう努めた。

【藤 野】

食材費高騰のため、使用食材の変更や分量の見直しを行い、食材費の削減に努めたが、さらなる食材費の値上げが続いている状況にあるほか、厨房人員の不足も続いており、実演などのイベント一部は再開できなかったが、限られた状況の中で行事食やオードブル、納涼ランチ等、できる限り食べることを楽しんでもらえる食事提供に努めた。

嚥下診療が開始となり、定山溪病院歯科医師と言語聴覚士から現在の食事の状況について専門的なアドバイスを受けることができるようになった。現状の食形態やトロ

ミ、姿勢や介助方法など食事に関する環境含めて、多職種と連携して検討・評価することができ、利用者の食べることに対する意識が向上してきている。

2 短期入所生活介護

【実施事業所】

拠点	事業所名	定員	開設年月日
小 樽	ショートステイはる	20 名	平成 9 年 8 月 1 日
発 寒	ショートステイはっさむはる	20 名	平成 18 年 9 月 1 日
藤 野	ショートステイらいらく	20 名	平成 19 年 10 月 16 日

【小 樽】

新規利用者の受け入れに関して、事前面談にて本人の状態や家族の意向、ニーズの把握を丁寧に行い、多職種で情報共有に努め、受入後も施設での生活に不具合が出ないよう心掛けた。

稼働に関しては、6、12 月に発生した「新型コロナクラスター」により利用者の受け入れを制限した影響を受けて大きく稼働を落としたため、平均稼働率も 84.9%に留まり、予算稼働率を大きく下回った。

【発 寒】

利用者ニーズや近隣の事業所廃止、また特養待機者確保などの理由により年度途中に通常ショートステイ枠を 4 床から 6 床へ変更。受入枠を増加したことにより問合せも多くなり、新規利用者も増加し、居宅事業所からの信頼も得ることができ、緊急や予防事業の受け入れも行うことができた。また、特養入院者の空ベッドを利用することで平均稼働率 95.2%と予算稼働率を達成し、在宅生活の継続支援へ繋げることができた。しかし、体調不良等のキャンセル対応がスムーズにできれば、さらに稼働向上に繋がることから、課題は残された。

新規利用者に対しては、利用者や家族はもちろん、担当介護支援専門員から適切に情報収集することで、多職種による専門的な分析及び支援が提供でき、協力体制を構築する中で実践することができた。

【藤 野】

介護職員配置不足のため 2 か月間新規利用者受け入れを停止したことや受け入れ再開後も利用者の入居切り替えや入院などで、空室が多く、稼働が回復しなかったことにより年間平均稼働率は 83.5%と低迷した。

自立した生活を継続し、家族の負担を軽減するため、契約や担当者会議時に家族より

情報を聞き取り、尚且つ今後の在宅生活継続に向けた意向の確認、調整を行い、利用者・家族の希望に沿った利用調整を行った。

また、利用中は体操など身体機能維持のための活動に参加を促すことで、利用者の在宅生活の延長線上となる対応を心がけ、送迎時間も利用者や家族の状況を踏まえて適宜時間変更を行うなど家族が休める時間も調整した。

緊急の受け入れに関しても居室の空きがあれば断らず、できる限りの対応を行い、利用者の安全を優先して対応するなど、在宅生活継続について居宅介護支援専門員と協議しながら調整した。

3 通所介護

【実施事業所】

拠点	事業所名	定員	開設年月日
小 樽	デイサービスセンターはる（赤岩）	50 名	平成 9 年 8 月 1 日
	デイサービスセンターはる小樽稲穂	45 名	平成 27 年 12 月 1 日
発 寒	デイサービスセンターはっさむはる	42 名	平成 18 年 9 月 1 日
	デイサービスセンターはる北 17 条	40 名	平成 20 年 1 月 7 日
藤 野	デイサービスセンターらいらっく	40 名	平成 19 年 10 月 16 日
	デイサービスセンターはる清田	40 名	平成 25 年 5 月 1 日

【小 樽】

《はる（赤岩）》

1 日平均利用者数 38.3 名、平均稼働率は 76.6%に留まった。各曜日の登録者数は目標数値を超えていたが、当日休みや入院、ショートステイなどの理由で目標達成には至らなかった。また新規利用者と契約した際にも、その後すぐに施設入所される利用者が多く、稼働率向上に繋がらなかったケースも散見された。

行事として外出レクやドライブなどを実施し、多数の利用者が参加された。買い物レクはスーパーが人気であり、他にもセブンイレブンの施設への移動販売も人気が高いが、購入しても賞味期限の管理や健康管理ができない利用者もあり、家族や担当介護支援専門員と情報共有し、対応した。歯科医や柔道整復師、パーソナルトレーナーなどの専門家による講座や実技指導を行う中で、家族からの反響も大きく好評であった。

《はる小樽稲穂》

1 日平均利用者数 31.5 名、平均稼働率は 70.2%に留まった。目標稼働率を達成できず、9 月の 76.5%が最高値であった。定期的な営業には力を入れていたが、伸び悩みサービス内容や事業体制の見直しが必要となった。

外出レクとして、暖カフェ、コンビニ、八百屋への買い物、ラーメン店やウイステリアレストランなどへの食事のほか、小樽美術館で開催されたデイサービスの作品展示会の見学にも出品者を中心にしかけた。しかしながら、職員の退職が続いた時期には外出レクは制限せざるを得ない状況となってしまった。

その他のレク活動として、ふまねっと、ボッチャ、モルック、ホワイトボードを用いたクイズ、夏季限定の藍染などを行ったが、麻雀や Switch などのゲームも好評であった。職員体制が整わず新たな取り組みができない時期もあったが、今年に入り、利用者ニーズを踏まえながら今後のアクティビティ展開のための協議を開始した。

【発 寒】

《はっさむはる》

1 日平均利用者数 34.5 名、平均稼働率は 86.1%、月単位でみると 11 月から 2 月までは 90%を超え、目標の稼働率 90%に到達した。体験及び新規の動きは、年度初めから 8 月まで目標の体験利用者月 8 名を超えた。新規契約者は目標の契約率 70%以上には至らなかったが、上半期で 34 名増加した。利用者増加の要因としては、10 月より定員を 40 名から 42 名へ変更したこと、今年度より外出レクを本格的に再開し利用者の満足度が高まり、居宅介護支援事業所へ伝わり高評価となったこと、管理者及び生活相談員の変更により、営業活動を更に積極的に行ったことが挙げられる。しかし、近隣デイの閉鎖や地域包括支援センターからの問合せも増えた結果、要支援者の登録が増加し収入減となり、次年度への課題となった。

個別機能訓練加算の参加者増加を目指した結果、前年度より約 600 回増加した。

職員については、人員数は安定したが、勤務時間外の業務も多く、年度末には「業務の棚おろし」にて、今後の取り組みも確定し、働きやすい職場環境に向け動き出した。また職員の資質向上に向け、前年度はできなかった外部研修へ参加することもできた。

《はる北 17 条》

小樽などへの外出レクを本格的に再開し、利用者サービスを充実させることもでき、1 日平均利用者数 33.0 名、平均稼働率は 82.4%となり、目標の稼働率 82.5%をほぼ達成した。しかし、登録者数は年度初め 111 名、年度末で 101 名と 10 名減少、また体験者数も前年度より 32 名減少、体験獲得率は 38%に留まった。減少の大きな要因は、8 月に新型コロナ感染による体調不良によって休みや解約が増えたことであった。

感染症対策として「標準予防策」にて対応しているが、8 月は夏休みによる帰省や来客が多いため、利用者の感染リスクが高まる時期でもあり、また、夏祭り開催による利用者の増回なども感染拡大の要因となった。そのため、夏祭りは開催を中止し、別の月における代替行事を検討していく。

【藤 野】

《らいらっく》

職員一人ひとりが役割を理解、協力して業務を遂行することができ、利用者の希望に合わせたボランティアによる演奏会、外出行事等の実施や、趣味活動である書道や室内レクなどを継続して実施し、満足度を下げることなく営業することで1日平均利用者数 37.2 名、平均稼働率は 93% となり、目標の稼働率 92% を達成することができた。

新人職員 3 名については定期的な面談により、業務の進捗状況の確認を行い、それぞれの職員が業務を理解し一人立ちすることができた。

感染症により、2 月に延べ 70 人が休みとなったが、感染の恐れのある利用者などについて周知徹底し、その後の稼働に大きく影響することなく営業ができた。

《はる清田》

1 日平均利用者数 31.8 名、平均稼働率は 79.6% となり目標の稼働率 80% を達成することができなかった。要支援・要介護実績は、実利用人数合計は 1336 人（前年比+14 人）、延利用人数合計 8146 人（前年比+532 人）となり、前年度と比べ大幅に増加した。

外出レクやふまねっと等の運動、趣味活動を居宅の介護支援専門員に営業等を定期的に行いアピールしたが、前年度と比べ、体験人数は大きく減少し、体験からの利用に繋がる割合もわずかに減少している。その要因としては、短時間利用希望者の増加やショートステイ等の併用できるデイサービスを希望する利用者が増えていることが考えられる。

働きやすい職場作りとして年 2 回の職員面談を行い個別に面談する機会を設けた。業務の見直しは、日々のミーティング以外に月 1 回のデイサービス会議でテーマを設け検討した。

情報連携は自居宅と連携をとりながら実施でき、藤野拠点のデイサービスの取り組みについて、研修や情報共有の時間を多く設け実践した。

4 認知症対応型通所介護

【実施事業所】

拠点	事業所名	定員	開設年月日
小 樽	認知症対応型デイサービスセンターはる	12 名	平成 9 年 8 月 1 日

令和 7 年 2、3 月における入院や入所、ショートステイの利用日数増加などで稼働が落ちたが、年間における 1 日平均利用者数は 7.8 名、平均稼働率は 65.2% と、1 年を通じてほぼ目標数値で推移した。

新規利用者の多くは、これまでも介護サービスが必要ではあったものの、なかなか福祉サ

ービスにつなぐことができず、地域や家族が限界となり、地域包括支援センターからの相談により利用されることが多かった。それら新規利用者 19 名のうち半数以上は、1～2 ヶ月での入所や死亡で利用中止となっている。

管理者が講師として参画した「認知症カフェ」に、現在デイサービス利用中の方や家族、地域包括支援センターの紹介により認知症の心配をされている高齢者、また親を介護している世代の方々に参加していただくことで、これまで介護サービスの利用が難しいとされていた方々をデイサービス利用に繋げることができた。

5 居宅介護支援

【実施事業所】

拠点	事業所名	開設年月日
小 樽	指定居宅介護支援事業所はる	平成 12 年 4 月 1 日
発 寒	指定居宅介護支援事業所はっさむはる	平成 18 年 6 月 1 日
藤 野	指定居宅介護支援事業所らいらっく	平成 20 年 3 月 27 日
	指定居宅介護支援事業所はる清田	平成 25 年 5 月 1 日

(1) 取組状況

【小 樽】

4 月に旧稲穂居宅を吸収したことにより、前年度と比較し、給付管理数月平均は 278 件と増え、前年度 161 件を大きく上回った。新規契約数は前年度と同じ 78 件、解約件数は 100 件と前年度 109 件から微減した。

小樽市内全域をエリアとして、市内 4 つの地域包括支援センターへ営業に行くなど顧客確保に取り組んだが、新規相談は赤岩地区が多く、結果的に担当地域が限定的になった。しかしながら、小樽市内の地区別の高齢化率は赤岩地区が最も高く、高齢者世帯率は半数を超えている状況にあるため、日頃から医療連携に努める中で、医療機関との関係性の構築に努めることで、医療ニーズの高い要介護者に限らず、在宅復帰相談など医療機関からの相談も増えてきている。

この 2 年間で 5 名の離職があり、介護支援専門員の人数が年々減少している状況にあるため、離職を防ぎ、魅力ある職場となるための環境づくりが課題となっている。

【発 寒】

新規契約件数は例年より多く 100 件であったが、給付管理数月平均 240 件となり予算給付管理数 248 件を下回ったほか、札幌市から委託を受けている「地域包括支援センター」のケース増や人員不足のために再委託を受けており、全体数の内「要支援」の

割合が 38.7%と増加し、収入も減少となった。

新規獲得のため、医療機関への営業活動（パンフレット等の配布）を強化し、相談件数は前年度の 3 件から 7 件へ微増であるが成果はあった。また、暖カフェ参加者から複数件の相談があり、地域の相談窓口としての役割を果たすことができた。

ICT の推進では、ZOOM を活用した担当者会議の試験的な実施や ChatGPT の介護システムを学ぶなど、ケアマネジメントの ICT 化に繋げる取り組みを行った。

西区内の複数の社会福祉法人等との B C P 訓練（シュミレーション）を行い、災害などの発生時の連携やネットワークの拡大を目指していく第一歩を踏み出せた。

【藤 野】

《らいらく》

新規契約件数は 55 件となり前年度 52 件を上回った。給付管理件数の月平均は 102 件となり前年度平均 106 件を下回った。

9 月に 1 名退職のため特定事業所加算算定を取り下げ、担当件数を上限まで受持ち、新規利用者も困難事例以外は断らざるを得ない状況となった。

事業所内の ICT 化を推進することとしたが、職員のスキルにより習得に差があり、年度内での業務の負担軽減や標準化には至らなかった。しかし、介護ソフトの追加や業務の整理を行うことで利用者や家族とのモニタリング訪問の時間に充てることができ、サポート体制を整えることができた。

利用者の意思を尊重しながら、家族とともに他機関との調整を行いながらその人らしい日常生活を支援するとともに、地域包括支援センターとは個別地域ケア会議を通じて、対応に苦慮しているケースに関する連携を図ることができた。

《はる清田》

新規契約件数は 53 件となり前年度件 81 件を下回ったが、給付管理件数の月平均は 156 件となり前年度平均件数の 150 件を上回った。

ケアマネジメントの質を高めるため、法定内研修に沿って適切なケアマネジメント手法の基本的な考え方や実践的な取り組みについて、居宅会議を通じて重点的に学ぶとともに、制度に基づいた内容を共有しながら、ケアマネジメントの質向上に向けた取り組みが進んでいる。

ICT の導入や業務体制の見直しにより、残業時間の削減が実現し、業務を時間内に完了できる環境が整ってきた。これにより、仕事と家庭との両立がしやすくなり、職員間のコミュニケーションも活発に行われ、働きやすい職場づくりが進んでいる。

事業運営については、地域のニーズに応えるため他事業所との連携や研修等にも積極的に参加し、併設デイサービスとの連携も深まり、紹介率は上昇した。

(2) 事業所別要介護度別給付管理状況

◀ 赤岩 ▶

		令和6年度															令和5年度	令和4年度
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	構成比		
援（給 業（要 務支 支管理 受援理 託者数 件は予 防支	要支援1	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	2	3	40	3.3	1.2%	8	0
	要支援2	5	4	5	5	5	5	5	6	7	7	6	5	65	5.4	1.9%	6	2
	要介護1	83	85	79	81	81	82	86	86	86	86	83	79	997	83.1	29.8%	519	763
	要介護2	122	121	124	123	124	121	118	113	116	108	108	102	1,400	116.7	41.9%	884	941
	要介護3	45	42	38	36	40	41	42	43	41	42	45	44	499	41.6	14.9%	309	304
	要介護4	22	23	25	26	23	23	20	18	18	18	18	16	250	20.8	7.5%	147	178
	要介護5	6	7	7	9	10	8	8	8	7	11	7	6	94	7.8	2.8%	56	60
月合計		287	286	282	284	287	283	282	277	278	275	269	255	3,345	278.8	100%	1,929	2,248

◀ 発寒 ▶

		令和6年度															令和5年度	令和4年度
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	構成比		
援（給 業（要 務支 支管理 受援理 託者数 件は予 防支	要支援1	40	38	38	40	40	42	43	42	41	40	40	38	482	40.2	16.7%	426	243
	要支援2	51	50	55	53	52	49	52	50	53	57	55	56	633	52.8	22.0%	580	300
	要介護1	89	85	82	78	81	85	87	90	85	84	84	93	1,023	85.3	35.5%	1031	1015
	要介護2	37	38	34	33	32	27	28	27	31	30	32	28	377	31.4	13.1%	466	533
	要介護3	15	13	13	14	16	17	18	16	15	15	16	14	182	15.2	6.3%	139	155
	要介護4	5	6	7	7	8	10	10	11	12	12	14	15	117	9.8	4.1%	97	115
	要介護5	4	5	5	6	6	6	6	6	6	5	6	5	66	5.5	2.3%	87	105
月合計		241	235	234	231	235	236	244	242	243	243	247	249	2,880	240.0	100%	2,826	2,466

◀ 藤野 ▶

		令和6年度															令和5年度	令和4年度
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	構成比		
援（給 業（要 務支 支管理 受援理 託者数 件は予 防支	要支援1	4	3	5	5	6	6	4	4	4	4	4	5	54	4.5	4.4%	24	30
	要支援2	5	5	5	6	6	6	4	4	5	5	5	5	61	5.1	5.0%	64	84
	要介護1	42	54	47	49	46	45	37	34	36	36	34	33	493	41.1	40.5%	495	535
	要介護2	32	30	29	28	34	29	24	24	28	25	23	25	331	27.6	27.2%	374	312
	要介護3	16	11	11	12	11	9	8	8	7	6	7	6	112	9.3	9.2%	179	177
	要介護4	11	12	13	13	16	11	11	11	10	12	10	9	139	11.6	11.4%	111	116
	要介護5	2	1	1	1	1	2	5	3	3	4	3	2	28	2.3	2.3%	32	44
月合計		112	116	111	114	120	108	93	88	93	92	86	85	1,218	101.5	100%	1,279	1,298

◀ 清田 ▶

		令和6年度															令和5年度	令和4年度
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	構成比		
援（給 業（要 務支 支管理 受援理 託者数 件は予 防支	要支援1	14	13	13	12	10	10	8	8	8	8	8	8	120	10.0	6.4%	186	204
	要支援2	25	25	26	25	23	24	25	24	23	22	24	25	291	24.3	15.5%	284	270
	要介護1	66	67	68	66	68	67	72	73	72	65	68	68	820	68.3	43.8%	738	759
	要介護2	35	35	36	35	36	39	37	35	30	29	27	31	405	33.8	21.6%	400	372
	要介護3	9	8	9	10	10	9	11	11	10	10	13	10	120	10.0	6.4%	98	110
	要介護4	6	4	6	6	8	9	7	6	4	5	5	7	73	6.1	3.9%	60	62
	要介護5	4	4	4	3	3	4	5	6	4	3	2	3	45	3.8	2.4%	28	43
月合計		159	156	162	157	158	162	165	163	151	142	147	152	1,874	156.2	100%	1,794	1,820

6 認知症対応型共同生活介護

【実施事業所】

拠点	事業所名	定員	開設年月日
小 樽	グループホームはる	27 名	平成 16 年 4 月 1 日

「自分らしく生きる」ための活動を積極的に推進するために、在宅にいたときの生活習慣が維持できるように努めるなど個別ケアの実践を進めるとともに、質の高いケアを提供するために多職種連携を深め、利用者への直接サービスの質の確保を維持するように努めた。

職員確保が思うように進まない状況のなか、業務の棚おろしを進め、日勤帯の勤務者数を削減し、業務の効率化と依然厳しい収支状況の改善に取り組んだが、職員不足により十分な職員の研修機会の確保ができなかった。

地域交流に関しては、駄菓子屋の開催頻度を増やすなど地域交流の拡大を図り、令和7年度以降のさらなる交流機会のきっかけ作りに取り組んだ。

7 軽費老人ホーム（ケアハウス）

【実施事業所】

拠点	事業所名	定員	開設年月日
小 樽	ケアハウスはる	50 名	平成 11 年 9 月 1 日

入居者実績は月初日在居者で 599 名。高齢化による急な体調不良や認知症進行を理由とする退居が増えている現状があり、入居者の重度化に拍車がかかった印象にある。そのため、毎日の心身状況の些細な変化を察知し、感染症にも留意するなどの健康管理を実施した。

居室内での面会再開、外部を招いたレクリエーションや保育園児との交流菜園、法人事業である認知症カフェへの定期的な参加など社会参画に繋がる活動を行い、コロナ禍で制限されていた活動を徐々に緩和し、少しずつではあるが、感染症への予防策を講じながらも入居者それぞれの生活の質を取り戻すことができた。

引き続き、入居者の生活が末永く健康で穏やかな毎日となるよう、施設内での生活支援と相談援助支援の充実に加えて関係機関とも密な連携を図りながら、その人らしい暮らしのサポートを行っていく。

8 地域包括支援センター

【実施事業所】

拠点	事業所名	開設年月日
発 寒	札幌市西区第3地域包括支援センター	平成 25 年 4 月 1 日

（1）取組状況

総合相談件数は年間 792 件、月平均 66 件と前年度より約 200 件増加している。その要因として、今年度に開始されたフレイル改善マネジャー事業（モデル事業）の影響が大き

く、介護予防支援・介護予防ケアマネジメント給付管理件数も増加した。

利用者等からの苦情や様々なトラブルがあり、地域包括支援センター職員としての資質が問われた1年となった。センターの支援は、チームアプローチにより、必ず利用者とその家族がいることを念頭に置いて進めていかなければならないことから、会議や職員面談を重ね、センター独自の価値観ではなく法人理念や専門職としての意識の見直しや業務内容の一部の変更などを行い、その統一化を図った。

今年度は離職者が続いたため、センターの信用・信頼の回復と働きやすい職場環境の整備が課題となったほか、法人職員として他事業所との連携や委員会活動を通じて、地域包括支援センターとしての活動を知ってもらうことも、今後の課題となった。

(2) 事業状況

① 総合相談支援業務

【相談者別 件数】

相談別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	構成比	R5年度	R4年度
本人	15	14	24	23	36	22	24	35	29	36	18	18	294	24.5	37.1%	121	82
家族介護者	5	20	22	24	19	20	15	22	13	17	18	14	209	17.4	26.4%	191	
家族親戚	3	2	9	5	10	7	9	9	6	8	13	8	89	7.4	11.2%	50	219
知人近隣住民	1	2	0	4	1	2	1	2	1	3	0	3	20	1.7	2.5%	10	9
介護支援専門員	0	0	2	4	0	2	4	2	4	3	4	3	28	2.3	3.5%	44	33
介護保険サービス事業所	1	3	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	7	0.6	0.9%	7	4
民生委員	2	2	2	1	3	3	2	2	4	1	2	2	26	2.2	3.3%	27	23
福祉のまち推進委員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0%	0	1
町内会	0	0	0	4	0	0	0	0	0	1	0	0	5	0.4	0.6%	4	1
医療機関	1	3	6	3	4	2	1	2	7	3	4	3	39	3.3	4.9%	65	57
行政機関	1	1	4	3	0	3	1	1	2	0	1	1	18	1.5	2.3%	17	8
介護予防センター	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1	0.1%	7	7
その他	1	16	4	6	2	3	3	4	4	5	6	2	56	4.7	7.1%	20	35
合計	30	63	73	77	77	64	61	79	71	77	66	54	792	66.0	100.0%	563	479

【相談内容別 件数】 ※重複あり

相談内容	介護サービスの利用希望	介護保険制度・サービス	インフォーマルサービス	介護予防	その他の保健福祉サービス	ケアマネジメントに関する事	高齢者虐待に関する事	消費者被害に関する事	権利擁護（オ・カ以外、金銭管理含む）	認知症に関する事	心身の健康に関する事	家族の疾病・障がいに関する事	医療に関する事	住まいに関する事	処遇困難	苦情	情報提供	お守り認定	その他
R6年度	376	185	16	8	9	48	1	0	4	31	27	13	31	80	1	8	21	3	41
R5年度	312	123	13	6	4	42	3	0	12	43	42	12	25	74	10	6	31	7	40
R4年度	273	124	10	13	15	23	1	2	4	37	38	13	23	55	10	7	39		41

② 権利擁護業務

【高齢者虐待 相談受付・対応】

受 付・ 対応内容	相談数（実数）		対応件数（重複可）					
	相談受理	（うち区 へ通報）	事実確認 の協議	コアメン バー会議	初期評価 会議	虐待対応 ケース会議	虐待対応 評価会議	合 計
R6年度	2	2	5	11	1	1	3	21
R5年度	7	5	7	2		0	2	11
R4年度	2	1	0	3		3	3	9

【権利擁護支援】

	日常生活自立 支援事業	成年後見制度 （任意・親族）	成年後見制度 （市長申立）	消費者被害に関 する相談窓口	法律相談窓口	その他
R6年度	3	7	0	0	0	0
R5年度	1	2	0	0	2	2
R4年度	0	1	1	0	1	0

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援

支 援 内 容・人数	相談支援(人数)				研修開催等	
	関係機関との 連携体制構築 支援	介護支援専門 員同士のネッ トワーク構築 支援	介護支援専門 員の実践力向 上支援	その他	回数	人数
R6年度	26	21	106	0	23	108
R5年度	48	22	60	0	3	37
R4年度	14	12	85	2	3	42

【地域ケア体制構築】

	個別地 域ケア 会議関 係	地区地 域ケア 会議関 係	区 地域ケ ア推進 会議	市 地域ケ ア推進 会議	運営推 進会議 等	介護支 援専門 員関係	地区組 織との 連携	医療機 関との 連携	在宅ケ ア連絡 会との 連携	その他 関係機 関との 連携	合 計
R6年度	37	23	51	0	51	11	35	1	6	37	252
R5年度	21	17	29	1	32	14	36	2	10	22	184
R4年度	32	20	33	2	21	16	29	2	12	38	205

④ 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント給付管理件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度	R4年度
直営	件数	406	402	401	403	416	435	438	436	437	432	440	444	5,090	5,003	5,305
	新規	20	10	12	22	16	13	14	15	15	17	20	16	190	128	158
再委託	件数	225	224	219	221	216	219	212	206	205	213	213	214	2,587	2,377	1,802
	新規	11	9	4	3	5	4	6	2	11	6	8	8	77	73	51
件数合計		631	626	620	624	632	654	650	642	642	645	653	658	7,677	7,380	7,107
新規合計		31	19	16	25	21	17	20	17	26	23	28	24	267	201	209

9 コミュニティケア事業

【実施事業所】

拠点	事業所名	開設年月日
小 樽	暖カフェ	平成 29 年 8 月 1 日

(1) 取組状況

「暖カフェ」に多くの方々が集うことができる場所を目指し、次の5事業を実施するとともに、サンモール一番街の「スタンプラリー」や「清掃活動」に参加し、商店街との積極的な交流を図ったが、商店街における閉店、空き店舗の取り壊し等が相次ぎ、地域の活性化や賑わいに寄与できたとはいえない状況にある。

ただし、商店街交流を続けることで、「こども食堂」の行事に対し、菓子提供を受けることもあり、「暖カフェ」の認知と関係性が構築されつつある。

ア こども食堂

「こども食堂」に対する認知度が上がり、利用者数が増大したことから、令和5年度の2週に1回から週1回の開催としたが、それでも1回あたりの利用者数平均は25.1名から37.3名と約1.5倍となったため、混雑回避を目的として、状況に応じて金曜日の他、土曜日も追加開催して対応を図り（どちらか1回の参加）、利用者数を平準化させた。

利用者が増えることにより、喧嘩や物のやり取りなど、子ども間のトラブルや親同士の意見の食い違いなどの問題も発生したため、公式LINEでの注意喚起を行ったほか、「保護者懇談会」の開催を検討したが、3月の学校行事等と重なったことにより、対象となる保護者等の出席が困難となったため、開催は断念した。

また、利用者増により、食材不足が懸念されるとともに、「米」を代表とする食材の値上げもあったことから、通常とは別に、SNS活用等により食材等の寄贈についての呼びかけや地元企業、個人事業主などに寄贈品を依頼するチラシ配布を行うな

どの取組みを行い、その結果、食材不足に至ることはなかった。

多くの人が集まることで、商店街の活性化や賑わいを復活させるため、縁日やハロウィン、クリスマス等の子どもたちをメインとする季節行事や日常のアクティビティの充実に取り組んだが、行事当日限りの賑わいとなり、継続的なものとはなっていない。

イ 認知症カフェ

参加者が少ない理由のひとつとして「認知症という言葉に抵抗感がある」という参加者の声に配慮して「共生カフェ」の一部として実施し、「こども食堂」とのコラボ企画として「親子認知症サポーター養成講座」を開催するなど、新たなニーズにも取り組んだが、年間参加者は令和5年度の67名から96名と増えたものの、1回あたりの参加者は5.6名から、8名と微増の状態であった。

また、参加者は法人ケアハウスの入居者が多いほか、職員不足により、今後、法人職員の協力も難しいことから、今後のあり方の検討が必要な状況にある。

ウ 共生カフェ

インバウンド観光客の小樽市内への流入が活況化する中、インスタントからドリップへコーヒーの質向上など、利用者増に取り組んだが、そもそも商店街内の人通りが少ない上に、店舗の閉店が続いたため、1日あたりの利用者数平均は令和5年度の3.6名から3.3名と減少しており、「認知症カフェ」とセットで今後の運営のあり方を検討する必要がある。

エ 地域活動支援事業

「暖カフェ」において他事業実施時に本事業の周知活動を行う計画であったが、「暖カフェ」における「こども食堂」開催に向けた準備、当日対応に関する比重が大きくなり、利用者への効果的な周知活動は行えなかったほか、市内各種団体等への周知活動を行うこともできなかった。

結果、利用状況が令和5年度の30日から9日と激減しているほか、利用が特定の団体になっており、事業継続の可否についての判断が必要な状況にある。

オ さをり織り体験・販売

体験・販売とも、令和5年度とほぼ横ばいであったが、「さをり織り」作成者や指導者が不足しており、令和6年度途中に事業継続の可否を検討し、年度末での事業廃止を決定した。

(2) 事業状況

事業名	活動日数	利用状況	活動内容
こども食堂	5 5 日	大人 延 750 人 小人 延 1,298 人	食事提供を必要としている子ども（高校生まで）と親、ひとり暮らしや孤食の地域住民等を対象に、高校生以下無料、大人 300 円で夕食を提供
認知症カフェ	1 3 日	延 96 人	専門職が講話や相談を通じて認知症当事者、家族等に対応するほか、関係者の交流の場を提供
共生カフェ	2 3 2 日	大人 延 689 人 小人 延 81 人	一般市民や観光客等の交流の場としてコーヒー等の飲み物を安価で提供
地域活動支援事業	9 日	登録 7 団体	地域で活動する福祉等の関係機関・団体などの活動のために「暖カフェ」を無料で貸し出し。 また、事業参加団体間における調整、交流等の企画などの実施
「さをり織り」製作体験・販売等	2 3 2 日	111 件	コースター等の織り製作体験の機会の提供やハンドメイド作品の販売

10 地域交流事業

(1) 取組状況

活動を徐々に強化してコロナ禍前の状況に近づけるよう小樽・発寒両拠点で継続的に取り組み、事業が再度、活性化し始めている。

小樽拠点ではボランティアグループあかりのメンバーがグループホームやデイサービス等で積極的な活動を行っており、「だがし屋はる」も開催頻度を増やすことで、地域の小学生や保育園児の買い物のための来所が増えている。

発寒拠点では認知症カフェ「暖カフェ」を2度開催し、地域への情報発信を行い、多くの参加者が施設を訪れた。

(2) 事業状況

【小樽拠点】

活動名	活動延日数	主な活動内容	備考
ボランティアグループあかり	247 日	ウェス切・外出レク付き添い他	ボランティア登録数8人
だがし屋はる	264 日	駄菓子販売	売上額 167,127 円

【発寒拠点（認知症カフェ:暖カフェ）】

開催日	講話内容等	参加者数
令和6年8月24日	「認知症カフェ・暖カフェとは何か？」 講師：法人職員	20人
令和6年12月14日	「認知症と運動」 講師：谷藤航児氏（あおぞら訪問看護ステーション）	23人

第4 職員研修

(1) 取組状況

職員の専門性の研鑽、リーダーシップやマネジメント力の向上など、次世代の人材育成に資する研修を重点的に実施した。

全体研修では、次世代の人材育成として外部講師を招くなど「役職者育成プログラム」に沿った研修を実施し、役職者として学ぶべきリーダーシップやマネジメント力を身に付けることができ、役職者が自らの責任を認識し学びを深める良い機会ともなった。

職種別研修においては、拠点を越えた専門職同士の研鑽の場としてはもちろん、同じ職種が繋がることで日常業務の相談などを行える関係性が深まり、法人内各職種の専門性の向上と連携強化が図られた。また、より専門性を高めるために「研修動画コンテンツ」を活用した研修を幾つか行っているが、時間の確保が難しい中でも効率的に実施できるメリットもあり、学びの手段を限定せずに幅広い方法で知識を得られる研修環境の整備の一つの成果となった。

「新人育成プログラム」に関する研修については、人員不足等により調整が行えず実施できなかったため、次年度は確実に実施したい。

施設外の研修については高齢者虐待防止やハラスメントなど、注目されるテーマへの参加が中心となったが、現場の人員不足等により積極的な参加が叶わなかったこともあり、職員の学びの機会をどのように確保できるかは引き続きの課題とする。

(2) 実施状況

① 全拠点合同特別研修

No.	開催日	研 修 名	受講人数
1	令和6年10月22日	特別研修（カスタマーハラスメント対応について）	16
2	令和6年12月12日	特別研修（薬）	55
3	令和6年12月12日	特別研修（個人情報保護）	42
4	令和7年1月23日	課長・係長研修（役職者育成プログラム）	16

② 拠点別研修

【小樽拠点】

No.	開催日	研 修 名	受講人数
1	令和6年10月16日	災害BCP研修	19
2	令和6年10月16日	感染症・食中毒予防研修	19
3	令和6年11月20日	BCP感染症研修	18

【発寒拠点】

No.	開催日	研 修 名	受講人数
1	令和6年8月15日	BCP感染症研修	4
2	令和6年10月30日	災害BCP研修	6
3	令和7年2月20日	経理研修	8

【藤野拠点】

No.	開催日	研 修 名	受講人数
1	令和6年6月18日	BCP感染症研修	14
2	令和6年7月11日	災害BCP研修	12
3	令和7年3月18日	経理研修	17

③ 事業所・職種別研修

【特養・デイサービス（SW）】

No.	開催日	研 修 名	受講人数
1	令和6年8月9日	相談員研修①	3
2	令和7年1月8日	相談員研修②	4

【デイサービス（全職種）】

No.	開催日	研 修 名	受講人数
1	令和6年7月19日	通所相談員研修①	5
2	令和6年11月11日	デイサービス研修①（研修動画コンテンツ）	29
3	令和7年1月17日	通所相談員研修②	6
4	令和7年2月1日	デイサービス研修①（研修動画コンテンツ）	29

【居宅・包括（介護支援専門員他）】

No.	開催日	研 修 名	受講人数
1	令和6年10月11日	居宅包括研修①	18
3	令和7年2月14日	居宅包括研修②	17

【事務（事務員）】

No.	開催日	研 修 名	受講人数
1	令和6年10月24日	事務研修①	4

④ 施設外研修

【小樽拠点】

NO	開催日	研修名	受講事業所及び職種	
1	令和6年7月10日	社会福祉士実習指導者講習会	特別養護老人ホームはる	生活相談員
2	令和6年8月5日	認知症介護実践リーダー研修	特別養護老人ホームはる	介護職員
3	令和6年8月15日	リハビリテーション・栄養・口腔の一体的取組	特別養護老人ホームはる	管理栄養士
4	令和6年9月27日	後志老人福祉施設協議会 事務等担当職員研修	特別養護老人ホームはる	事務職員
5	令和6年9月30日	認知症介護実践リーダー研修	特別養護老人ホームはる	介護職員
6	令和6年12月1日	認知症介護基礎研修（オンライン）	特別養護老人ホームはる	新規職員10名
7	令和7年1月24日	令和6年度後志老施協議会給食担当者研修会	特別養護老人ホームはる	管理栄養士
8	令和7年2月12日	令和6年度後志老施協議会施設長研修会	特別養護老人ホームはる	施設長
9	令和6年9月9日	北海道認知症対応型サービス事業管理者研修	デイサービスセンターはる小樽稲穂	介護職員
10	令和7年1月24日	認知症高齢者に対する虐待防止の適正化研修	グループホームはる	介護職員
11	令和7年2月4日	令和6年度後志老施協議会直接処遇職員研修（後期）	ケアハウスはる	介護職員
12	令和7年2月10日	北海道高齢者虐待防止推進研修会（施設編）	ケアハウスはる	施設長
13	令和7年2月12日	令和6年度後志老施協議会施設長研修会	ケアハウスはる	施設長

【発寒拠点】

NO	開催日	研修名	受講事業所及び職種	
1	令和6年6月21日	排泄にまつわる「あれこれ」を学ぼう	特別養護老人ホームはっさむはる	介護職員
2	令和6年7月8日	高齢者虐待防止推進研修会（管理者編）	特別養護老人ホームはっさむはる	介護職員
3	令和6年7月10日	経理担当者・管理者のための基礎研修	特別養護老人ホームはっさむはる	事務員
4	令和6年8月6日	相談援助員専門研修	特別養護老人ホームはっさむはる	生活相談員
5	令和6年8月20日 21日 29日 30日	認知症介護実践者研修	特別養護老人ホームはっさむはる	介護職員
6	令和6年9月12日	AI・スマートフォン導入事例徹底仮設セミナー	特別養護老人ホームはっさむはる	事務員
7	令和6年9月12、13日	ユニットケア施設管理者研修	特別養護老人ホームはっさむはる	施設長
8	令和6年9月30日～10月4日	認知症介護リーダー研修	特別養護老人ホームはっさむはる	介護職員
9	令和6年10月22日	カスハラ対応	特別養護老人ホームはっさむはる	生活相談員
10	令和6年10月26日	介護福祉士実習指導者講習会	特別養護老人ホームはっさむはる	介護職員
11	令和6年11月11日～11月15日	認知症リーダー研修	特別養護老人ホームはっさむはる	介護職員
12	令和7年2月7日	高齢者虐待防止と権利擁護	特別養護老人ホームはっさむはる	介護支援専門員
13	令和7年2月14日	特定給食施設関係者研修	特別養護老人ホームはっさむはる	管理栄養士
14	令和6年6月25日	新任相談援助職員研修	デイサービスセンターはっさむはる	生活相談員
15	令和6年12月26日	認知症介護基礎研修	デイサービスセンターはっさむはる	介護職員
16	令和6年12月30日	認知症介護基礎研修	デイサービスセンターはっさむはる	介護職員
17	令和6年6月10日	拒否、依存、攻撃…その時どうする？精神科からのアドバイス	居宅介護支援事業所はっさむはる	介護支援専門員
18	令和6年6月26日	ケアプランデータ連携システム活用ウェビナー	居宅介護支援事業所はっさむはる	介護支援専門員
19	令和6年7月18日	法改正と高齢者虐待防止課題～今、「現場」で何が起きている？	居宅介護支援事業所はっさむはる	介護支援専門員
20	令和6年7月17日	令和6年度地域アドバイザー養成研修	居宅介護支援事業所はっさむはる	介護支援専門員
21	令和6年7月15日	高齢者虐待防止施策最前線～在宅/施設	居宅介護支援事業所はっさむはる	介護支援専門員
22	令和6年7月24日	令和6年度ケアラー支援関係機関職員等研修	居宅介護支援事業所はっさむはる	介護支援専門員
23	令和6年8月3日	令和6年度主任介護支援専門員フォローアップ研修会	居宅介護支援事業所はっさむはる	介護支援専門員
24	令和6年7月29日	北海道高齢者虐待防止推進研修会（在宅編）	居宅介護支援事業所はっさむはる	介護支援専門員
25	令和6年8月30日	令和6年度札幌市成年後見推進センター関係者向け研修会	居宅介護支援事業所はっさむはる	介護支援専門員
26	令和6年9月18日	careTEX24専門セミナーカスハラから職員を守れ！	居宅介護支援事業所はっさむはる	介護支援専門員
27	令和6年9月26日	令和6年度第1回地域アドバイザースキルアップ研修会	居宅介護支援事業所はっさむはる	介護支援専門員
28	令和6年10月18日	北海道高齢者虐待防止推進研修会（在宅編）	居宅介護支援事業所はっさむはる	介護支援専門員
29	令和7年1月31日	ChatGPTでケアマネ業務の長時短術	居宅介護支援事業所はっさむはる	介護支援専門員
30	令和7年3月10日	生産性向上・ICT活用を知ろう「基本のキ」	居宅介護支援事業所はっさむはる	介護支援専門員
31	令和7年3月7日	難病患者への支援～知っておきたい制度利用のあれこれ～	居宅介護支援事業所はっさむはる	介護支援専門員
32	令和6年5月29日～5月31日	高齢者虐待対応現任者標準研修	札幌市西区第3包括支援センター	看護師
33	令和6年6月10日	令和6年度第1回長寿社会開発センター研究セミナー	札幌市西区第3包括支援センター	保健師
34	令和6年7月8日	令和6年度北海道高齢者虐待防止推進研修（管理者編）	札幌市西区第3包括支援センター	社会福祉士・主任介護支援専門員
35	令和6年7月12日	令和6年度認知症体験研修会	札幌市西区第3包括支援センター	社会福祉士
36	令和6年7月22日	令和5年度最重点取り組み項目研修グループ研修会	札幌市西区第3包括支援センター	社会福祉士
37	令和6年8月20日	令和6年度介護サービス苦情相談担当者研修会	札幌市西区第3包括支援センター	社会福祉士・主任介護支援専門員
38	令和6年8月23日	認知症フォーラム 認知症になっても自分らしく生きていくために	札幌市西区第3包括支援センター	社会福祉士・看護師
39	令和6年8月30日	札幌市成年後見推進センター「関係者向け研修会」	札幌市西区第3包括支援センター	社会福祉士・保健師
40	令和6年8月31日～9月1日	地域包括支援センターネットワーク実践力養成研修（前期）	札幌市西区第3包括支援センター	看護師
41	令和6年9月4日	令和6年度北海道高齢者虐待防止推進研修会（在宅編）	札幌市西区第3包括支援センター	社会福祉士・保健師・看護師
42	令和6年9月4日～9月5日	令和6年度北海道介護支援専門員更新研修（後期）	札幌市西区第3包括支援センター	介護支援専門員
43	令和6年9月18日	令和6年度第2回長寿社会開発センター研究セミナー	札幌市西区第3包括支援センター	保健師
44	令和6年10月1日～10月3日	令和6年度 地域包括ケアセミナー	札幌市西区第3包括支援センター	保健師
45	令和6年10月11日	高齢者等終身サポート事業者ガイドライン勉強会	札幌市西区第3包括支援センター	社会福祉士
46	令和6年10月22日	令和6年度北海道高齢者虐待防止推進研修会集合研修	札幌市西区第3包括支援センター	社会福祉士・看護師
47	令和6年10月29日	BCP策定から考える地域包括支援センターの役割や備え	札幌市西区第3包括支援センター	社会福祉士
48	令和6年11月1日	令和6年度 包括支援センター研修会（第2回）	札幌市西区第3包括支援センター	社会福祉士
49	令和6年11月19日	令和6年度第3回長寿社会開発センター研究セミナー	札幌市西区第3包括支援センター	保健師・看護師
50	令和6年11月19日	令和6年度札幌市ゲートキーパー研修会（基礎研修）	札幌市西区第3包括支援センター	社会福祉士
51	令和6年11月21日	ひきこもり＆発達障害支援を学ぶ地域づくりセミナー	札幌市西区第3包括支援センター	社会福祉士・看護師
52	令和6年11月28日	全国地域生活定着支援センター協議会 令和6年度北海道東北ブロック研修会	札幌市西区第3包括支援センター	社会福祉士
53	令和6年12月1日	令和6年度札幌市認知症サポート医・かかりつけ医フォローアップ研修会	札幌市西区第3包括支援センター	社会福祉士
54	令和6年12月11日	令和6年度札幌市認知症カフェ情報交換会	札幌市西区第3包括支援センター	社会福祉士
55	令和6年12月11日	令和6年度認知症初期集中支援チーム員フォローアップ研修	札幌市西区第3包括支援センター	保健師
56	令和6年12月18日	令和6年度地域包括支援センター職員現任者研修	札幌市西区第3包括支援センター	看護師
57	令和6年12月19日	令和6年度地域リハビリテーション連携強化研修	札幌市西区第3包括支援センター	社会福祉士・保健師
58	令和7年3月2日	地域包括支援センターネットワーク実践力養成研修（後期）	札幌市西区第3包括支援センター	看護師
59	令和7年3月21日	令和6年度ケアマネジメントリーダー活動支援事業 市全体研修会	札幌市西区第3包括支援センター	主任介護支援専門員
60	令和7年3月24日	令和6年度地域包括支援センター職員資質向上研修	札幌市西区第3包括支援センター	社会福祉士
61	令和7年3月25日	令和6年度西3包括認知症サポーターフォローアップ講座	札幌市西区第3包括支援センター	保健師

【藤野拠点】

NO	開催日	研修名	受講事業所及び職種	
1	令和6年5月24日	介護施設における安全対策担当者養成研修につきまして	特別養護老人ホームらいらく	介護職員
2	令和6年8月13日	認知症介護基礎研修	特別養護老人ホームらいらく	事務職員
3	令和6年8月30日	認知症介護基礎研修	特別養護老人ホームらいらく	介護職員
4	令和6年9月4日	認知症介護基礎研修	特別養護老人ホームらいらく	介護職員
5	令和6年9月11日	外国人職員の介護技術研修	特別養護老人ホームらいらく	介護職員
6	令和6年9月20日	令和6年度第1回ふじねっと交流会	特別養護老人ホームらいらく	相談員他
7	令和6年10月2日	排泄用品の適切な使い方	特別養護老人ホームらいらく	介護職員
8	令和6年12月16日	認知症介護基礎研修	特別養護老人ホームらいらく	事務職員
9	令和6年5月25日	ケアプランデータ連携システム説明会の参加につきまして	居宅介護支援事業所らいらく	介護支援専門員
10	令和6年7月18日	令和6年度ケアラー支援関係機関職員等研修	居宅介護支援事業所らいらく	介護支援専門員
11	令和6年7月25日	ヤングケアラー支援ケアマネに期待される役割とは？	居宅介護支援事業所らいらく	介護支援専門員
12	令和6年8月7日	主任介護支援専門員資質向上研修	居宅介護支援事業所らいらく	介護支援専門員
13	令和6年8月28日	令和6年度第1回東区支部定例研修会集合研修	居宅介護支援事業所らいらく	介護支援専門員
14	令和6年9月27日	令和6年度藤野地区地域ケア会議	居宅介護支援事業所らいらく	介護支援専門員
15	令和6年9月20日	令和6年度第1回東区支部定例研修会集合研修	居宅介護支援事業所らいらく	介護支援専門員
16	令和6年12月20日	令和7年ふるさと藤野新年交礼会	居宅介護支援事業所らいらく	介護支援専門員
17	令和7年3月19日	地域でつなぐアドバンス・ケア・プランニング	居宅介護支援事業所らいらく	介護支援専門員
18	令和6年6月17日	ウィステリア清田合同勉強会	居宅介護支援事業所はる清田	介護支援専門員
19	令和6年6月19日	みんなで考えよう！救急車の正しい使い方	居宅介護支援事業所はる清田	介護支援専門員
20	令和6年6月27日	令和6年度市民健康教育講座	居宅介護支援事業所はる清田	介護支援専門員
21	令和6年7月11日	介護支援専門員連絡協議会清田支部定例会	居宅介護支援事業所はる清田	介護支援専門員
22	令和6年7月30日	対応できてます！？カスタマーハラスメント予防	居宅介護支援事業所はる清田	介護支援専門員
23	令和6年11月22日	令和6年度第3回清田区支部定例研修会	居宅介護支援事業所はる清田	介護支援専門員

《資 料 集》

目 次

1	職員の状況	1
2	利用者の状況	2
3	事故の状況	12
4	苦情受付状況	26
5	会議・委員会実施状況	32
6	実習生受け入れ状況	33
7	非常時訓練状況	33

1 職員の状況

(1) 職員の採用・退職者数

・小樽拠点

年度	年度当初在籍職員数			採用職員数			退職職員数			年度末在籍職員数		
	正職員	臨時職員	計	正職員	臨時職員	計	正職員	臨時職員	計	正職員	臨時職員	計
令和6年度	57人	72人	129人	7人	13人	20人	7人	22人	29人	58人	70人	128人
令和5年度	69人	79人	148人	5人	12人	17人	13人	16人	29人	61人	75人	136人
令和4年度	74人	71人	145人	3人	18人	21人	9人	12人	21人	68人	77人	145人

・発寒拠点

年度	年度当初在籍職員数			採用職員数			退職職員数			年度末在籍職員数		
	正職員	臨時職員	計	正職員	臨時職員	計	正職員	臨時職員	計	正職員	臨時職員	計
令和6年度	75人	49人	124人	10人	14人	24人	11人	9人	20人	74人	54人	128人
令和5年度	73人	47人	120人	7人	13人	20人	7人	9人	16人	75人	49人	124人
令和4年度	77人	42人	119人	2人	17人	19人	3人	13人	16人	76人	49人	125人

・藤野拠点

年度	年度当初在籍職員数			採用職員数			退職職員数			年度末在籍職員数		
	正職員	臨時職員	計	正職員	臨時職員	計	正職員	臨時職員	計	正職員	臨時職員	計
令和6年度	50人	48人	98人	7人	12人	19人	4人	10人	14人	53人	50人	103人
令和5年度	43人	48人	91人	3人	5人	8人	5人	10人	15人	41人	43人	84人
令和4年度	44人	52人	96人	2人	10人	12人	2人	9人	11人	44人	53人	97人

(2) 職員の資格取得状況（令和7年3月31日現在）

資格名	小樽		発寒		藤野		計	
	正規職員	臨時職員	正規職員	臨時職員	正規職員	臨時職員	正規職員	臨時職員
医師		1		1		1		3
保健師			1				1	
助産師								
看護師	3	7	6	3	5	1	14	11
准看護師	2	3	1		4		7	3
介護福祉士	39	28	41	25	22	15	102	68
社会福祉士	5		10	3	4		19	3
管理栄養士	2		2		2		6	
栄養士	1						1	
理学療法士			1				1	
作業療法士					2		2	
言語聴覚士								
介護支援専門員	11	3	21	3	7		39	6
計	63	42	83	35	46	17	192	94

2 利用者の状況

(1) 介護老人福祉施設

① 月別・介護度別入所状況

《小樽》

令和6年度																令和5年度	令和4年度
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比		
要支援	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
要介護1	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
要介護2	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
要介護3	実人数	34	33	34	34	33	33	32	30	29	31	28	28	379	39.0%	355	325
	延人数	989	977	985	1,023	1,023	990	926	875	879	906	748	822	11,143	38.6%	10,386	9,585
要介護4	実人数	24	24	24	23	25	24	28	28	29	29	31	32	321	33.0%	351	346
	延人数	720	717	684	713	742	745	848	807	894	882	848	976	9,576	33.2%	10,338	10,211
要介護5	実人数	22	24	23	23	22	22	23	24	23	23	22	21	272	28.0%	272	306
	延人数	660	698	690	713	708	660	690	713	686	654	615	651	8,138	28.2%	8,015	9,196
実利用人数計		80	81	81	80	80	79	83	82	81	83	81	81	972	100%	978	977
延利用人数計		2,369	2,392	2,359	2,449	2,473	2,395	2,464	2,395	2,459	2,442	2,211	2,449	28,857	100%	28,739	28,992
1日平均利用人数		79.0	77.2	78.6	79.0	79.8	79.8	79.5	79.8	79.3	78.8	79.0	79.0	年平均	79.1	78.5	79.4
稼働率		98.7%	96.5%	98.3%	98.8%	99.7%	99.8%	99.4%	99.8%	99.2%	98.5%	98.7%	98.8%	年平均	98.8%	98.2%	99.3%

《発寒》

令和6年度																令和5年度	令和4年度
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比		
要支援	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
要介護1	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
要介護2	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	7	23
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	214	699
要介護3	実人数	32	31	30	30	31	30	31	31	30	30	33	33	372	38.2%	406	381
	延人数	948	874	900	930	927	865	922	903	921	927	858	1,006	10,981	38.5%	11,946	11,411
要介護4	実人数	28	31	30	30	28	29	29	28	29	28	29	28	347	35.6%	331	335
	延人数	803	878	832	895	855	866	866	823	869	811	717	852	10,067	35.3%	9,608	9,855
要介護5	実人数	20	21	21	21	22	22	22	22	21	22	22	19	255	26.2%	225	225
	延人数	600	651	613	634	657	660	644	608	642	648	551	583	7,491	26.2%	6,497	6,672
実利用人数計		80	83	81	81	81	81	82	81	80	80	84	80	974	100%	969	964
延利用人数計		2,351	2,403	2,345	2,459	2,439	2,391	2,432	2,334	2,432	2,386	2,126	2,441	28,539	100%	28,265	28,637
1日平均利用人数		78.4	77.5	78.2	79.3	78.7	79.7	78.5	77.8	78.5	77.0	75.9	78.7	年平均	78.2	77.2	78.5
稼働率		98.0%	96.9%	97.7%	99.2%	98.3%	99.6%	98.1%	97.3%	98.1%	96.2%	94.9%	98.4%	年平均	97.7%	96.5%	98.1%

《藤野》

令和6年度																令和5年度	令和4年度
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比		
要支援	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
要介護1	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
要介護2	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
要介護3	実人数	19	18	21	21	23	25	25	25	25	26	27	27	282	28.9%	267	277
	延人数	540	558	581	651	662	709	754	720	757	761	721	813	8,227	28.8%	7,960	7,971
要介護4	実人数	41	41	41	39	41	38	38	38	38	37	37	38	467	47.8%	421	409
	延人数	1,200	1,205	1,130	1,166	1,126	1,114	1,162	1,097	1,134	1,116	1,007	1,145	13,602	47.6%	12,359	11,376
要介護5	実人数	22	21	20	20	20	19	18	18	18	18	17	16	227	23.3%	295	299
	延人数	616	651	600	620	609	544	534	540	544	527	464	493	6,742	23.6%	8,345	8,808
実利用人数計		82	80	82	80	84	82	81	81	81	81	81	81	976	100%	983	985
延利用人数計		2,356	2,414	2,311	2,437	2,397	2,367	2,450	2,357	2,435	2,404	2,192	2,451	28,571	100%	28,664	28,155
1日平均利用人数		78.5	77.9	77.0	78.6	77.3	78.9	79.0	78.6	78.5	77.5	78.3	79.1	年平均	78.3	78.3	77.1
稼働率		98.2%	97.3%	96.3%	98.3%	96.7%	98.6%	98.8%	98.2%	98.2%	96.9%	97.9%	98.8%	年平均	97.8%	97.9%	96.4%

② 年齢別入所者状況

≪小樽≫

年度	区分	64歳未満	65～69歳	70～79歳	80～100歳	100歳以上	平均年齢	合計
令和7年3月31日 現在	男	0	0	1	7	0	86.9	94.9
	女	0	0	8	60	4	89.6	161.6
	計	0	0	9	67	4	89.1	256.5
令和6年3月31日 現在	男	0	0	1	6	1	89.1	8
	女	0	0	8	58	6	89.5	72
	計	0	0	9	64	7	89.5	80
令和5年3月31日 現在	男	0	0	3	8	1	89.1	12
	女	0	0	6	60	2	89.5	68
	計	0	0	9	68	3	89.4	80

≪釧路≫

年度	区分	64歳未満	65～69歳	70～79歳	80～100歳	100歳以上	平均年齢	合計
令和7年3月31日 現在	男	0	0	3	8	1	86.2	12
	女	0	0	6	56	5	90.3	67
	計	0	0	9	64	6	89.7	79
令和6年3月31日 現在	男	0	0	1	9	1	88.7	11
	女	0	0	5	58	6	91.5	69
	計	0	0	6	67	7	91.1	80
令和5年3月31日 現在	男	0	0	1	6	1	87.1	8
	女	0	0	5	60	7	86.1	72
	計	0	0	6	66	8	86.2	80

≪藤野≫

年度	区分	64歳未満	65～69歳	70～79歳	80～100歳	100歳以上	平均年齢	合計
令和7年3月31日 現在	男	0	0	1	9	1	88.7	11
	女	0	0	5	58	6	91.5	69
	計	0	0	6	67	7	91.1	80
令和6年3月31日 現在	男	0	0	3	11	1	89.1	15
	女	1	1	3	56	4	89.5	65
	計	1	1	6	67	5	89.4	80
令和5年3月31日 現在	男	0	0	4	13	1	86.1	18
	女	0	0	4	56	2	90.2	62
	計	0	0	8	69	3	89.3	80

③ 月別入退所状況

≪小樽≫

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度	入所	1	2	3	1	2	0	2	6	1	8	2	3	31
	退所	1	2	3	1	2	0	2	6	3	7	1	4	32
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和5年度	入所	3	3	3	3	9	2	5	2	3	1	2	1	37
	退所	4	2	3	3	9	5	4	0	3	1	2	1	37
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和4年度	入所	1	2	2	0	2	1	3	2	1	0	0	4	18
	退所	1	2	2	1	1	1	3	2	1	0	1	3	18
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

《 発寒 》

令和6年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	入所	0	3	1	1	1	1	2	1	2	3	5	1	21
	退所	0	3	1	1	1	1	2	3	3	1	5	2	23
令和5年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	入所	2	1	0	0	4	3	0	2	4	1	3	6	26
	退所	2	1	0	2	4	1	0	3	3	2	4	4	26
令和4年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	入所	2	1	5	1	0	0	0	2	1	2	3	3	20
	退所	1	2	4	1	0	0	0	2	2	2	4	1	19

《 藤野 》

令和6年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	入所	2	0	3	0	4	2	1	1	1	1	1	1	17
	退所	2	1	2	0	4	2	1	1	1	1	1	1	17
令和5年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	入所	3	4	2	3	0	1	2	3	4	1	3	1	27
	退所	3	4	2	3	0	1	2	3	4	2	2	1	27
令和4年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	入所	1	5	7	3	1	2	3	2	3	2	2	1	32
	退所	3	6	5	4	1	1	3	2	4	1	2	1	33

④ 待機者状況

《 小樽 》

区分	内訳								
	待機者数	待機地域		待機状況					
		市内	市外	他特養	老健施設	G H	病院	在宅	その他
令和6年度末	59	59	0	0	14	0	16	22	7
令和5年度末	96	95	1	0	8	0	21	54	13
令和4年度末	86	85	1	0	9	0	19	46	12

《 発寒 》

区分	内訳								
	待機者数	待機地域		待機状況					
		市内	市外	他特養	老健施設	G H	病院	在宅	その他
令和6年度末	47	45	2	0	8	3	10	22	4
令和5年度末	54	50	4	1	16	3	11	15	8
令和4年度末	46	42	4	0	11	1	15	9	10

《 藤野 》

区分	内訳								
	待機者数	待機地域		待機状況					
		市内	市外	他特養	老健施設	G H	病院	在宅	その他
令和6年度末	20	20	0	0	3	0	6	5	6
令和5年度末	22	21	1	2	4	1	8	6	1
令和4年度末	24	24	0	1	5	1	10	6	1

(2) 短期入所生活介護

① 月別・介護度別入所状況

◀ 小樽 ▶

令和6年度																	令和5年度	令和4年度
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比			
要支援	実人数	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3	1.1%	2	0	
	延人数	9	0	0	0	4	0	0	0	6	0	0	0	19	0.3%	12	0	
要介護1	実人数	2	4	3	3	2	2	2	1	1	5	1	1	27	9.7%	11	29	
	延人数	15	77	90	67	33	32	36	30	31	84	28	2	525	8.5%	98	0	
要介護2	実人数	5	3	3	4	4	4	1	1	3	4	2	4	38	13.7%	52	0	
	延人数	73	50	76	93	100	69	7	22	68	66	36	43	703	11.3%	571	0	
要介護3	実人数	10	9	10	6	9	9	8	10	8	6	10	11	106	38.3%	131	150	
	延人数	235	249	235	164	225	221	230	235	204	132	242	282	2,654	42.8%	2,819	4,094	
要介護4	実人数	5	5	7	6	6	6	8	8	6	5	6	6	74	26.7%	85	79	
	延人数	111	135	147	145	127	160	172	175	138	82	115	126	1,633	26.3%	1,840	2,221	
要介護5	実人数	3	3	1	3	3	3	4	3	2	2	0	2	29	10.5%	32	19	
	延人数	76	74	30	44	93	90	99	60	52	13	0	33	664	10.7%	586	514	
実利用人数計		26	24	24	22	25	24	23	23	21	22	19	24	277	100%	313	277	
延利用人数計		519	585	578	513	582	572	544	522	499	377	421	486	6,198	100%	5,926	6,829	
1日平均利用人数		17.3	18.9	19.3	16.5	18.8	19.1	17.5	17.4	16.1	12.2	15.0	15.7	年平均	17.0	16.2	18.7	
稼働率		86.5%	94.4%	96.3%	82.7%	93.9%	95.3%	87.7%	87.0%	80.5%	60.8%	75.2%	78.4%	年平均	84.9%	81.0%	93.5%	

◀ 発寒 ▶

令和6年度																	令和5年度	令和4年度
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比			
要支援	実人数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0.5%	0	0	
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	7	0	2	0	0	9	0.1%	0	0	
要介護1	実人数	3	8	5	5	11	10	9	8	7	9	13	10	98	24.3%	9	4	
	延人数	25	37	20	32	51	48	35	32	40	55	96	62	533	7.7%	131	56	
要介護2	実人数	6	6	3	5	7	2	2	4	5	4	5	3	52	12.9%	13	2	
	延人数	57	79	56	56	39	5	10	18	22	12	43	40	437	6.3%	201	32	
要介護3	実人数	11	9	8	8	10	10	9	8	12	8	9	7	109	27.0%	100	119	
	延人数	296	251	233	242	283	260	224	213	232	226	182	202	2,844	40.9%	2,648	3,225	
要介護4	実人数	6	10	10	9	8	8	9	10	9	9	8	8	104	25.7%	99	95	
	延人数	178	249	249	200	197	240	262	266	246	217	190	195	2,689	38.7%	2,780	2,619	
要介護5	実人数	1	2	1	2	2	4	4	4	5	4	5	5	39	9.7%	37	39	
	延人数	8	11	4	5	9	30	34	53	57	56	72	98	437	6.3%	1,025	1,053	
実利用人数計		27	35	27	29	38	34	33	35	38	35	40	33	404	100%	258	259	
延利用人数計		564	627	562	535	579	583	565	589	597	568	583	597	6,949	100%	6,785	6,985	
1日平均利用人数		18.8	20.2	18.7	17.3	18.7	19.4	18.2	19.6	19.3	18.3	20.8	19.3	年平均	19.0	18.5	19.1	
稼働率		94.0%	101.1%	93.7%	86.3%	93.4%	97.2%	91.1%	98.2%	96.3%	91.6%	104.1%	96.3%	年平均	95.2%	92.7%	95.7%	

◀ 藤野 ▶

令和6年度																	令和5年度	令和4年度
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比			
要支援	実人数	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	6	1.9%	1	5	
	延人数	2	0	0	0	0	0	0	2	2	2	1	2	11	0.2%	6	30	
要介護1	実人数	1	1	2	2	1	3	4	2	4	4	2	2	28	9.1%	21	27	
	延人数	34	14	16	20	1	10	23	10	39	37	14	27	245	4.0%	233	412	
要介護2	実人数	3	3	3	3	5	4	8	6	6	5	5	5	56	18.2%	40	46	
	延人数	55	52	50	54	56	39	61	89	65	66	76	65	728	11.9%	618	432	
要介護3	実人数	11	10	11	10	10	8	7	7	9	9	8	9	109	35.4%	147	97	
	延人数	277	286	264	215	231	165	165	197	225	213	212	246	2,696	44.2%	3,142	1,903	
要介護4	実人数	7	8	7	6	8	4	6	7	7	8	9	10	87	28.2%	87	97	
	延人数	115	141	125	146	168	118	134	187	192	194	158	185	1,863	30.6%	1,831	2,411	
要介護5	実人数	2	1	1	1	1	2	2	2	2	3	3	2	22	7.1%	37	49	
	延人数	43	26	27	27	28	46	58	49	61	67	39	81	552	9.1%	962	1,131	
実利用人数計		25	23	24	22	25	21	27	25	29	30	28	29	308	100%	333	321	
延利用人数計		526	519	482	462	484	378	441	534	584	579	500	606	6,095	100%	6,792	6,319	
1日平均利用人数		17.5	16.7	16.1	14.9	15.6	12.6	14.2	17.8	18.8	18.7	17.9	19.5	年平均	16.7	18.6	17.3	
稼働率		87.7%	83.7%	80.3%	74.5%	78.1%	63.0%	71.1%	89.0%	94.2%	93.4%	89.3%	97.7%	年平均	83.5%	92.8%	86.6%	

(3) 通所介護

① 月別・介護度別利用状況

《赤岩》

令和6年度																令和5年度	令和4年度
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比		
営業日数		22	23	20	23	22	21	23	21	20	20	20	21	256		257	258
要支援 1	実人数	9	9	9	9	9	8	7	6	5	5	5	5	86	5.4%	90	111
	延人数	38	38	38	41	35	29	31	33	18	24	20	25	370	3.8%	346	453
要支援 2	実人数	19	19	20	20	17	17	16	13	12	11	11	11	186	11.6%	189	226
	延人数	123	121	105	131	111	112	120	87	79	71	63	78	1,201	12.2%	1,132	1,413
要介護 1	実人数	30	31	31	34	30	32	33	39	40	39	37	39	415	25.9%	439	512
	延人数	209	222	204	242	232	230	232	252	237	248	255	270	2,833	28.9%	2,800	3,065
要介護 2	実人数	53	53	57	55	57	55	54	52	55	56	54	52	653	40.8%	634	547
	延人数	349	361	316	377	351	348	372	322	315	294	310	326	4,041	41.2%	3,768	3,316
要介護 3	実人数	18	17	17	18	18	17	18	18	18	18	19	18	214	13.4%	183	156
	延人数	87	100	84	96	94	89	115	102	105	98	97	104	1,171	11.9%	1,061	953
要介護 4	実人数	1		2	4	4	4	1	1	2	2	1	4	26	1.6%	45	71
	延人数	1	0	3	9	15	13	2	2	4	4	2	18	73	0.7%	256	500
要介護 5	実人数	1	2	2	2	1	2	2	2	2	2	1	1	20	1.3%	12	12
	延人数	9	11	11	9	9	13	12	12	9	10	9	8	122	1.2%	109	50
実利用人数計		131	131	138	142	136	135	131	131	134	133	128	130	1,600	100.0%	1,592	1,635
延利用人数計		816	853	761	905	847	834	884	810	767	749	756	829	9,811	100.0%	9,472	9,750
1日平均利用人数		37.1	37.1	38.1	39.3	38.5	39.7	38.4	38.6	38.4	37.5	37.8	39.5	年平均	38.3	36.9	37.8
稼働率		74.2%	74.2%	76.1%	78.7%	77.0%	79.4%	76.9%	77.1%	76.7%	74.9%	75.6%	79.0%	年平均	76.6%	73.7%	75.6%

《稲穂》

令和6年度																令和5年度	令和4年度
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比		
営業日数		22	23	20	23	22	21	23	21	20	20	20	21	256		257	258
要支援 1	実人数	6	7		7	7	7	6	5	7	7	7	6	72	5.5%	64	86
	延人数	23	28	24	32	27	29	28	18	24	24	26	22	305	3.8%	231	267
要支援 2	実人数	15	15	16	13	12	12	13	13	13	11	11	11	155	11.9%	163	166
	延人数	92	99	90	112	100	94	84	87	89	74	66	80	1,067	13.2%	987	986
要介護 1	実人数	34	33	35	33	35	38	36	36	32	31	29	29	401	30.8%	409	360
	延人数	184	195	176	226	216	233	223	191	193	175	155	184	2,351	29.1%	2,302	2,560
要介護 2	実人数	34	35	38	41	38	37	37	36	35	32	36	33	432	33.2%	439	410
	延人数	222	264	230	275	265	246	273	253	212	212	178	211	2,841	35.1%	2,821	2,606
要介護 3	実人数	11	11	9	8	8	7	9	7	8	12	9	10	109	8.4%	110	91
	延人数	66	74	46	49	50	51	55	51	53	66	53	57	671	8.3%	698	609
要介護 4	実人数	8	7	6	4	3	4	4	4	4	3	4	4	55	4.2%	82	118
	延人数	32	32	23	21	15	13	22	18	16	14	13	22	241	3.0%	387	704
要介護 5	実人数	1	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	1	16	1.2%	15	15
	延人数	13	14	11	14	14	14	13	13	11	12	13	6	148	1.8%	149	100
自立支援	実人数	5	5	6	6	6	6	6	6	5	4	4	4	63	4.8%	57	37
	延人数	43	42	34	50	48	43	43	34	35	29	27	32	460	5.7%	418	330
実利用人数計		114	114	111	114	111	113	113	108	105	101	101	98	1,303	100.0%	1,339	1,283
延利用人数計		675	748	634	779	735	723	741	665	633	606	531	614	8,084	100.0%	7,993	8,162
1日平均利用人数		30.7	32.5	31.7	33.9	33.4	34.4	32.2	31.7	31.7	30.3	26.6	29.2	年平均	31.5	31.1	31.6
稼働率		68.2%	72.3%	70.4%	75.3%	74.2%	76.5%	71.6%	70.4%	70.3%	67.3%	59.0%	65.0%	年平均	70.2%	69.1%	70.3%

《はっさむ》

令和6年度																令和5年度	令和4年度
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比		
営業日数		22	23	20	23	22	21	23	21	20	20	20	21	256		257	258
要支援1	実人数	20	21	24	26	25	28	27	25	26	25	24	24	295	20.7%	219	177
	延人数	75	88	81	114	99	108	108	94	91	87	87	89	1,121	12.7%	865	633
要支援2	実人数	22	23	26	24	25	25	25	25	26	25	25	23	294	20.6%	244	164
	延人数	130	155	152	173	169	174	185	159	159	155	159	150	1,920	21.8%	1,432	997
要介護1	実人数	45	42	41	37	38	40	41	40	40	37	38	40	479	33.6%	517	356
	延人数	323	326	262	288	256	261	284	275	264	268	273	275	3,355	38.1%	3,427	2,523
要介護2	実人数	18	16	17	16	20	21	22	23	24	25	25	24	251	17.6%	223	212
	延人数	119	122	103	116	135	131	149	148	147	156	168	179	1,673	19.0%	1,754	1,652
要介護3	実人数	5	6	6	6	7	9	8	8	7	7	7	7	83	5.8%	65	112
	延人数	38	45	43	47	48	64	64	63	51	45	39	29	576	6.5%	509	692
要介護4	実人数	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13	0.9%	15	47
	延人数	8	11	8	6	9	8	9	9	8	8	8	8	100	1.1%	111	343
要介護5	実人数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	9	0.6%	22	19
	延人数	8	7	8	9	9	8	8	7	7	0	0	0	71	0.8%	109	177
実利用人数計		112	111	116	111	117	125	125	123	125	120	120	119	1,424	100.0%	1,305	1,087
延利用人数計		701	754	657	753	725	754	807	755	727	719	734	730	8,816	100.0%	8,207	7,017
1日平均利用人数		31.9	32.8	32.9	32.7	33.0	35.9	35.1	36.0	36.4	36.0	36.7	34.8	年平均	34.5	31.9	27.2
稼働率		80%	82%	82%	82%	82%	90%	88%	86%	87%	86%	87%	83%	年平均	86.1%	79.8%	68.0%

《北17条》

令和6年度																令和5年度	令和4年度
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比			
営業日数	22	23	20	23	22	21	23	21	20	20	20	21	256		257	258	
要支援1	実人数	9	8	9	9	9	8	8	7	7	7	8	8	97	7.8%	100	78
	延人数	36	37	33	40	34	30	37	25	26	26	30	31	385	4.6%	385	275
要支援2	実人数	7	8	9	9	10	9	8	9	8	8	8	8	101	8.1%	111	123
	延人数	38	45	41	52	52	52	47	44	39	40	43	47	540	6.4%	625	729
要介護1	実人数	59	58	57	55	53	49	49	48	49	49	47	46	619	49.8%	570	455
	延人数	429	465	409	471	416	383	400	378	370	365	368	367	4,821	57.1%	3,945	3,247
要介護2	実人数	21	19	20	21	21	24	25	25	23	27	28	26	280	22.5%	269	255
	延人数	126	133	117	141	149	159	183	170	162	172	175	166	1,853	22.0%	2,116	1,842
要介護3	実人数	8	8	7	6	5	4	5	5	5	4	4	4	65	5.2%	89	83
	延人数	60	62	34	36	26	16	27	24	24	20	16	19	364	4.3%	464	569
要介護4	実人数	4	5	5	4	4	3	4	4	5	5	5	7	55	4.4%	50	28
	延人数	27	39	32	21	25	25	35	25	35	37	34	42	377	4.5%	360	191
要介護5	実人数	3	3	3	2	2	2	2	2	1	1	2	2	25	2.0%	27	13
	延人数	12	10	8	6	7	6	8	8	3	4	12	13	97	1.1%	104	56
実利用人数計		111	109	110	106	104	99	101	100	98	101	102	101	1,242	100.0%	1,216	1,035
延利用人数計		728	791	674	767	709	671	737	674	659	664	678	685	8,437	100.0%	7,999	6,909
1日平均利用人数		33.1	34.4	33.7	33.3	32.2	32.0	32.0	32.1	33.0	33.2	33.9	32.6	年平均	33.0	31.1	26.8
稼働率		83%	86%	84%	83%	81%	80%	80%	80%	82%	83%	85%	82%	年平均	82.4%	88.9%	76.5%

《らいらっく》

令和6年度																令和5年度	令和4年度
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比			
営業日数		26	27	25	27	27	25	27	26	24	24	24	26	308		308	309
要支援 1	実人数	8	6	8	10	11	11	12	13	12	13	13	11	128	9.7%	69	91
	延人数	38	34	39	49	52	46	55	54	53	56	53	44	573	5.0%	314	380
要支援 2	実人数	15	15	14	11	12	12	12	10	11	10	10	12	144	10.9%	189	117
	延人数	109	130	112	96	100	87	98	67	71	71	66	89	1,096	9.6%	1,296	818
要介護 1	実人数	47	46	49	48	48	51	50	48	49	48	46	48	578	43.7%	555	577
	延人数	426	424	404	454	456	438	467	434	387	418	394	399	5,101	44.5%	5,052	5,072
要介護 2	実人数	26	25	24	25	26	28	31	34	34	32	33	34	352	26.6%	309	247
	延人数	279	288	253	285	279	278	331	358	311	312	323	340	3,637	31.7%	3,140	2,540
要介護 3	実人数	4	5	6	6	7	6	4	4	4	3	3	4	56	4.2%	76	74
	延人数	60	61	65	69	76	48	48	45	33	32	35	56	628	5.5%	845	702
要介護 4	実人数	5	5	5	5	5	3	4	4	4	3	5	5	53	4.0%	59	50
	延人数	44	46	35	42	34	22	25	33	22	21	28	34	386	3.4%	588	580
要介護 5	実人数	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	0	13	1.0%	12	23
	延人数	3	4	4	1	3	7	2	5	4	5	4	0	42	0.4%	45	113
実利用人数計		106	103	107	106	110	113	114	114	115	110	112	114	1,324	100.0%	1,269	1,179
延利用人数計		959	987	912	996	1,000	926	1,026	996	881	915	903	962	11,463	100.0%	11,280	10,205
1日平均利用人数		36.9	36.6	36.5	36.9	37.0	37.0	38.0	38.3	36.7	38.1	37.6	37.0	年平均	37.2	36.6	33.0
稼働率		92.2%	91.4%	91.2%	92.2%	92.6%	92.6%	95.0%	95.8%	91.8%	95.3%	94.1%	92.5%	年平均	93.0%	91.6%	82.6%

《清田》

令和6年度																令和5年度	令和4年度
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比		
営業日数		22	23	20	23	22	21	23	21	20	20	20	21	256		257	258
要支援 1	実人数	16	18	20	19	18	16	13	13	13	14	16	16	192	14.4%	220	144
	延人数	62	76	66	76	71	59	57	51	47	52	59	59	735	9.0%	840	526
要支援 2	実人数	18	21	19	17	16	14	15	16	15	15	16	18	200	15.0%	244	228
	延人数	116	124	102	106	93	82	100	93	85	81	87	88	1,157	14.2%	1,348	1,484
要介護 1	実人数	45	46	47	47	49	49	50	50	52	49	47	50	581	43.5%	514	425
	延人数	317	340	297	313	323	325	327	318	323	304	313	337	3,837	47.1%	3,298	2,997
要介護 2	実人数	27	25	25	27	26	25	27	24	24	24	23	22	299	22.4%	266	153
	延人数	169	172	154	205	187	171	185	156	161	146	143	165	2,014	24.7%	1,746	906
要介護 3	実人数	4	4	5	5	5	5	5	5	4	2	3	4	51	3.8%	61	46
	延人数	31	30	31	37	34	34	35	30	23	8	12	29	334	4.1%	333	305
要介護 4	実人数	0	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	7	0.5%	10	0
	延人数	0	4	0	0	0	0	2	4	3	4	4	4	25	0.3%	33	0
要介護 5	実人数	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	6	0.4%	7	8
	延人数	0	0	0	0	0	0	3	9	8	8	8	8	44	0.5%	16	45
実利用人数計		110	115	116	115	114	109	112	110	110	106	107	112	1,336	100.0%	1,322	1,004
延利用人数計		695	746	650	737	708	671	709	661	650	603	626	690	8,146	100.0%	7,614	6,263
1日平均利用人数		31.6	32.4	32.5	32.0	32.2	32.0	30.8	31.5	32.5	30.2	31.3	32.9	年平均	31.8	29.6	24.3
稼働率		79.0%	81.1%	81.3%	80.1%	80.5%	79.9%	77.1%	78.7%	81.3%	75.4%	78.3%	82.1%	年平均	79.6%	74.1%	60.7%

② 体験利用

《 赤岩 》

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度	体験利用数	7	13	12	9	4	3	4	6	8	4	5	3	78
	契約人数	5	7	6	8	3	3	3	5	3	0	4	1	48
令和5年度	体験利用数	0	2	2	4	3	6	5	5	4	4	5	3	43
	契約人数	0	2	2	3	4	4	4	5	4	4	6	2	40
令和4年度	体験利用数	6	3	5	10	6	5	3	7	6	3	4	1	59
	契約人数	6	2	5	4	12	5	3	7	4	2	4	1	55

《 稲穂 》

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度	体験利用数	5	2	7	1	4	7	7	2	3	2	2	4	46
	契約人数	5	2	4	3	2	4	2	2	2	0	2	3	31
令和5年度	体験利用数	5	4	7	4	3	5	4	7	11	5	6	6	67
	契約人数	3	1	5	0	2	3	3	5	7	3	4	2	38
令和4年度	体験利用数	4	7	4	12	6	7	5	4	2	5	8	4	68
	契約人数	3	7	3	10	4	6	4	3	2	4	6	3	55

《 はっさむ 》

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度	体験利用数	8	13	12	11	9	4	0	7	3	2	4	8	81
	契約人数	6	4	7	5	5	7	0	4	1	1	2	5	47
令和5年度	体験利用数	9	16	14	6	7	9	9	8	7	7	6	6	104
	契約人数	5	12	10	3	6	6	3	3	3	2	6	4	63
令和4年度	体験利用数	1	7	5	5	5	8	4	6	4	7	4	8	64
	契約人数	1	5	4	3	3	4	2	3	3	4	1	5	38

《 北17条 》

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度	体験利用数	7	9	6	5	4	4	5	7	3	8	3	2	63
	契約人数	3	4	2	1	1	1	3	2	0	4	2	1	24
令和5年度	体験利用数	7	7	6	6	5	13	14	7	11	8	6	5	95
	契約人数	4	3	5	3	1	5	6	3	5	1	1	3	40
令和4年度	体験利用数	6	7	12	7	13	9	8	11	6	12	7	10	108
	契約人数	3	3	8	3	3	5	6	7	4	3	3	8	56

《 らいらっく 》

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度	体験利用数	8	9	12	7	2	1	8	4	0	6	3	2	62
	契約人数	5	1	9	3	7	3	7	3	1	3	3	4	49
令和5年度	体験利用数	4	3	1	7	8	4	6	7	0	6	8	6	60
	契約人数	1	1	1	4	3	3	5	3	0	3	4	2	30
令和4年度	体験利用数	2	3	3	3	4	3	17	7	4	3	3	1	53
	契約人数	1	1	3	2	2	2	14	3	3	1	2	1	35

《 清田 》

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度	体験利用数	5	4	4	2	3	2	4	6	4	7	4	6	51
	契約人数	3	3	2	1	3	2	2	3	3	5	3	3	33
令和5年度	体験利用数	8	10	4	10	4	9	11	5	3	3	7	10	84
	契約人数	11	9	3	7	3	5	8	6	2	2	1	4	61
令和4年度	体験利用数	6	9	11	5	2	5	4	8	6	1	8	17	82
	契約人数	5	5	6	2	2	4	3	6	3	1	4	7	48

(4) 認知症対応型通所介護

① 月別・介護度別利用状況

令和6年度																令和5年度	令和4年度
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比			
営業日数		22	23	20	23	22	21	23	21	20	20	20	21	256		257	258
要介護1	実人数	3	5	5	5	5	4	4	4	4	4	3	4	50	16.5%	27	18
	延人数	24	33	33	38	37	40	26	22	22	23	20	22	340	17.0%	126	105
要介護2	実人数	9	7	6	6	5	7	5	4	4	4	4	4	65	21.5%	99	56
	延人数	70	54	41	47	28	30	45	38	32	28	26	29	468	23.4%	688	548
要介護3	実人数	6	7	7	8	7	7	10	12	10	9	10	8	101	33.3%	67	67
	延人数	38	45	48	52	46	43	57	57	48	50	51	45	580	29.0%	551	787
要介護4	実人数	8	9	8	10	8	7	6	5	6	5	5	5	82	27.1%	58	69
	延人数	53	63	53	62	60	49	39	40	34	40	45	46	584	29.2%	429	550
要介護5	実人数	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	1	0	5	1.7%	0	4
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	7	13	10	1	0	31	1.5%	0	21
実利用人数計		26	28	26	29	25	25	25	26	26	23	23	21	303	100.0%	251	214
延利用人数計		185	195	175	199	171	162	167	164	149	151	143	142	2,003	100.0%	1,794	2,011
1日平均利用人数		8.4	8.5	8.8	8.7	7.8	7.7	7.3	7.8	7.5	7.6	7.2	6.8	年平均	7.8	7.0	7.8
稼働率		21.0%	21.2%	21.9%	21.6%	19.4%	19.3%	18.2%	19.5%	18.6%	18.9%	17.9%	16.9%	年平均	65.2%	58.2%	65.0%

② 体験利用

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度	体験利用数	3	3	0	3	0	1	1	3	4	0	0	1	19
	契約人数	3	2	2	0	0	1	2	4	1	6	0	0	21
令和5年度	体験利用数	1	2	4	4	1	1	3	0	0	0	1	2	19
	契約人数	0	1	2	3	3	1	3	4	3	0	1	1	22
令和4年度	体験利用数	1	2	2	0	0	1	1	0	3	0	0	1	11
	契約人数	1	2	0	0	0	1	0	0	3	0	0	1	8

(5) 認知症対応型共同入所介護

① 月別・介護度別入所状況

令和6年度																令和5年度	令和4年度
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比		
要支援	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
	延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0
要介護1	実人数	8	8	8	8	8	9	9	9	9	9	9	9	103	32.0%	93	83
	延人数	240	248	240	248	248	240	253	251	279	279	244	254	3,024	31.8%	2,657	2,504
要介護2	実人数	5	5	6	6	6	5	7	7	7	7	8	8	77	23.9%	50	58
	延人数	150	155	171	155	180	153	216	201	197	217	196	238	2,229	23.4%	1,524	1,727
要介護3	実人数	6	6	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	56	17.4%	54	59
	延人数	180	186	150	155	130	144	124	120	124	124	112	114	1,663	17.5%	1,646	1,627
要介護4	実人数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	58	18.0%	65	52
	延人数	150	155	150	155	155	150	155	150	155	155	121	124	1,775	18.7%	1,984	1,568
要介護5	実人数	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	1	1	28	8.7%	62	72
	延人数	90	93	90	93	93	65	62	60	62	56	28	31	823	8.7%	1,983	2,190
実利用人数計		27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	26	26	322	100%	324	324
延利用人数計		810	837	801	806	806	752	810	782	817	831	701	761	9,514	100%	9,701	9,616
1日平均利用人数		27.0	27.0	26.7	26.0	26.0	25.1	26.1	26.1	26.4	26.8	25.0	24.5	年平均	26.1	26.5	26.3
稼働率		100.0%	100.0%	98.9%	96.3%	96.3%	92.8%	96.8%	96.5%	97.6%	99.3%	92.7%	90.9%	年平均	96.5%	98.2%	97.6%

② 年齢別入所状況

年度	区分	64歳未満	65～69歳	70～79歳	80～100歳	100歳以上	平均年齢	合計
令和7年3月31日現在	男	0	0	0	3	1	92.2	4
	女	0	0	3	20	0	90.2	23
	計	0	0	3	23	1	89.1	27
令和6年3月31日現在	男	0	0	0	3	1	92.2	4
	女	0	0	2	21	0	89.7	23
	計	0	0	2	24	1	90.2	27
令和5年3月31日現在	男	0	0	0	4	0	90.7	4
	女	0	0	2	20	1	89.6	23
	計	0	0	2	24	1	89.5	27

③ 月別入退所状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度	入所	0	0	0	0	0	1	2	1	1	0	0	3	8
	退所	0	0	0	0	1	2	1	1	0	1	2	0	8
令和5年度	入所	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1	4
	退所	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	4
令和4年度	入所	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	1	5
	退所	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1	0	1	5

④ 待機者状況

区分	待機者数	内訳							
		待機地域		待機状況					
		市内	市外	他特	老健	G H	病院	在宅	その他
令和6年度末	3	3	0	0	0	0	1	2	0
令和5年度末	10	10	0	0	1	2	0	7	0
令和4年度末	11	11	0	0	1	0	0	9	1

(6) 軽費老人ホーム（ケアハウス）

① 年齢別入居者状況

	区分	64歳未満	65～69歳	70～79歳	80～100歳	100歳以上	平均年齢	合計
令和7年3月31日 現在	男	0	0	2	8	0	83.2	10
	女	0	0	3	33	2	88.1	38
	計	0	0	5	41	2	87.1	48
令和6年3月31日 現在	男	0	0	2	8	0	83.1	10
	女	0	0	2	34	2	87.7	38
	計	0	0	4	42	2	86.7	48
令和5年3月31日 現在	男	0	0	3	6	0	80.8	9
	女	0	0	3	37	1	88.6	41
	計	0	0	6	43	1	87.2	50

② 月別入居状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月初日在所者数	50	50	49	50	50	50	50	50	50	50	50	50	599
(1日付入所)	2	0	0	3	0	0	0	0	1	1	0	0	7
月途中入居者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月途中退居者数	0	1	2	0	0	0	0	1	1	0	0	2	7
月末在所者数	50	49	47	50	50	50	50	49	49	50	50	48	592

③ 入居待機状況

年度	待機者	内訳					
		男女別		待機状況		待機地域	
		男	女	在宅	その他	市内	市外
令和6年度末現在	49	15	34	39	10	47	2
令和5年度末現在	42	13	29	33	9	38	4
令和4年度末現在	47	14	33	37	10	44	3

3 事故の状況

(1) 介護老人福祉施設

《小樽》

事故内容

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度	R4年度
転倒	5	5	4	4	3	9	12	11	12	5	7	10	87	68	48
転落	3	0	1	2	0	2	2	1	1	7	3	1	23	10	4
ずり落ち	1	0	2	0	0	4	0	4	2	7	2	4	26	20	9
打撲	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	3	0
変色	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	4	11	8
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
異食	0	0	0	0	1	0	3	0	0	1	1	0	6	0	7
器物破損	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	2	5	6	1
外傷	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3	7	12
誤薬	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	4	5
薬関係	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	1	3
Rt間のトラブル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
その他	0	0	0	3	1	0	1	0	0	1	0	1	7	9	19
合計	10	5	8	9	6	15	21	18	19	24	13	19	167	141	118

ヒヤリハット内容

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度	R4年度
転倒	26	36	40	9	33	43	69	52	27	24	30	48	437	567	688
転落	4	9	4	6	6	16	11	12	7	8	5	19	107	70	105
ずり落ち	1	4	2	1	2	9	4	3	1	3	11	15	56	57	33
打撲	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	1	5	4	2
変色	0	0	0	0	1	2	1	0	0	1	0	0	5	9	18
誤嚥	7	9	5	1	4	5	9	2	5	7	3	5	62	65	126
異食	2	4	1	2	3	4	1	0	0	0	1	2	20	25	22
器物破損	0	0	0	0	2	5	5	4	2	1	7	4	30	13	16
外傷	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3	28	43
誤薬	7	2	2	3	1	7	13	1	1	3	6	2	48	53	71
薬関係	11	9	6	2	6	8	8	9	6	3	5	3	76	105	164
Rt間のトラブル	3	0	0	0	2	2	4	2	2	5	6	10	36	16	34
その他	17	23	16	8	9	25	16	18	11	16	3	12	174	237	252
合計	79	96	77	32	69	127	142	103	62	73	78	121	1,059	1,249	1,574

《発寒》

事故内容

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度	R4年度
転倒	0	2	2	3	4	1	3	1	2	0	3	2	23	27	39
転落	0	0	2	2	1	1	1	1	0	1	0	1	10	13	7
ずり落ち	0	1	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	6	7	10
打撲	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	2	2
変色	1	0	1	2	2	0	1	0	0	1	0	0	8	6	12
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0
異食	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	4	4	5
器物破損	0	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	4	4	0
外傷	1	1	0	0	5	1	1	1	0	0	0	3	13	20	17
誤薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
薬関係	1	3	0	2	0	0	1	0	1	2	0	0	10	11	5
Rt間のトラブル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	1	0	0	2	1	1	0	3	1	9	4	9
合計	3	9	7	11	14	4	10	5	6	6	8	7	90	101	106

ヒヤリハット内容

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度	R4年度
転倒	7	6	7	8	4	4	5	5	9	1	4	2	62	60	45
転落	1	1	4	1	2	1	1	0	0	0	0	0	11	17	14
ずり落ち	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	13
打撲	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	3
変色	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4
誤嚥	1	2	2	0	1	1	2	1	0	1	4	1	16	8	5
異食	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	4	4	14
器物破損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0
外傷	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
誤薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
薬関係	0	7	1	0	0	1	2	0	0	3	1	0	15	28	56
Rt間のトラブル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3
その他	0	1	0	1	0	1	0	2	2	0	0	0	7	2	2
合計	10	18	14	13	8	8	11	9	12	5	10	4	122	131	159

《藤野》

事故内容

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度	R4年度
転倒	4	3	0	3	4	1	1	1	1	1	2	3	24	22	20
転落	1	2	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	7	9	8
ずり落ち	0	2	0	0	0	0	0	2	0	2	2	0	8	4	2
打撲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	3
変色	0	2	4	3	5	7	7	1	3	6	3	4	45	27	56
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
異食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1
器物破損	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0
外傷	5	1	3	2	4	2	2	5	1	1	0	2	28	11	15
誤薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
薬関係	0	0	1	0	0	0	2	1	1	0	0	3	8	5	2
Rt 間のトラブル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	4	7	9
合計	11	10	8	10	13	10	14	11	8	10	8	12	125	98	120

ヒヤリハット内容

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度	R4年度
転倒	5	2	6	2	6	0	1	1	2	3	5	6	39	28	66
転落	0	0	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	5	17	28
ずり落ち	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	7	10	4
打撲	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
変色	1	1	1	1	3	3	0	6	1	1	0	0	18	16	29
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
異食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3	4
器物破損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
外傷	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3	8	17
誤薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
薬関係	1	1	2	2	0	2	1	0	5	2	2	2	20	7	12
Rt間のトラブル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
その他	0	1	0	0	2	0	1	4	2	1	2	0	13	25	51
合計	9	6	13	7	12	6	4	13	10	8	9	10	107	120	218

(2) 短期入所生活介護

《小樽》

事故内容

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒	5	3	0	1	2	0	2	0	3	4	5	1	26
転落	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
ずり落ち	1	0	0	0	0	0	0	1	0	5	3	1	11
打撲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
変色	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
異食	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
器物破損	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
外傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤薬	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
薬関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Rt間のトラブル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3
合計	9	4	2	3	2	2	2	1	4	9	10	2	50

ヒヤリハット内容

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒	30	16	10	7	10	5	3	8	25	15	9	12	150
転落	2	0	0	0	0	0	0	1	3	0	2	1	9
ずり落ち	2	1	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	8
打撲	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
変色	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤嚥	5	5	0	3	6	2	1	0	3	2	2	2	31
異食	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
器物破損	0	0	0	2	0	1	1	2	0	2	3	0	11
外傷	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	5
誤薬	1	0	1	2	1	2	4	1	2	0	4	1	19
薬関係	6	6	3	6	8	10	0	3	0	4	7	2	55
Rt間のトラブル	1	0	2	0	1	1	1	1	2	2	1	0	12
その他	6	6	7	4	7	8	3	2	13	4	0	2	62
合計	58	34	23	25	34	30	14	19	50	29	28	23	367

《発寒》

事故内容

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒	3	2	1	2	3	0	1	2	2	2	1	2	21
転落	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
ずり落ち	0	1	0	2	0	0	0	1	0	0	1	1	6
打撲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
変色	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
異食	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
器物破損	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
外傷	0	0	0	1	2	4	0	0	0	0	0	0	7
誤薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
薬関係	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	4
Rt 間のトラブル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	3	2	0	0	2	1	0	2	0	0	0	10
合計	6	6	8	7	5	7	3	3	5	2	2	3	57

ヒヤリハット内容

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒	8	7	0	3	3	1	5	2	3	5	1	5	43
転落	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	4
ずり落ち	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
打撲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
変色	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
誤嚥	1	1	2	0	1	1	0	2	0	0	0	1	9
異食	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	3
器物破損	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
外傷	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
誤薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
薬関係	2	0	1	0	2	0	1	2	2	0	1	3	14
Rt間のトラブル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	3	2	1	1	0	0	1	3	2	3	5	21
合計	12	12	5	8	7	3	6	8	9	8	6	14	98

《 藤野 》

事故内容

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒	0	2	1	0	1	1	2	0	1	3	3	1	15
転落	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ずり落ち	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4
打撲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
変色	1	0	0	1	1	0	1	0	1	3	0	3	11
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
異食	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
器物破損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外傷	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	3
誤薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
薬関係	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0	4
Rt 間のトラブル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4
合計	3	5	2	3	2	3	4	0	3	8	4	5	42

ヒヤリハット内容

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒	9	6	4	2	2	0	3	13	2	1	0	6	48
転落	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	1	0	5
ずり落ち	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
打撲	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
変色	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
異食	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
器物破損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
薬関係	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	3
Rt間のトラブル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	5	1	0	4	0	2	0	8	0	5	4	30
合計	10	12	6	6	7	2	6	14	11	4	6	11	95

(3) 通所介護

《赤岩》

事故内容

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度	R4年度
転倒	0	2	1	0	1	0	1	1	1	0	2	0	9	3	6
転落	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
ずり落ち	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
浴槽内事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
無断外出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤薬	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
投薬忘れ	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	4	4
物の返し忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
持参忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
送迎忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	2	2	2	5	1	5	0	3	4	1	4	2	31	23	14
合計	2	4	3	5	2	5	1	6	6	1	6	2	43	34	27

ヒヤリハット内容

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度	R4年度
転倒	0	2	0	3	6	3	4	6	3	5	5	2	39	13	12
転落	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	5	7	3
ずり落ち	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1
浴槽内事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	8
無断外出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投薬忘れ	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	2	1
物の返し忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
持参忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
送迎忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	5	3	2	0	2	2	4	1	5	1	1	2	28	9	13
合計	6	6	3	3	8	5	9	7	9	8	6	5	75	36	40

《稲穂》

事故内容

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度	R4年度
転倒	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	4	4	1
転落	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ずり落ち	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
浴槽内事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無断外出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
投薬忘れ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
物の返し忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
持参忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
送迎忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車輛事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	1	1	5	4	1
合計	0	0	0	1	2	1	2	0	0	1	1	2	10	11	3

ヒヤリハット内容

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度	R4年度
転倒	7	9	8	10	10	10	12	12	11	14	14	15	132	87	47
転落	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	1	0
ずり落ち	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	16	1
浴槽内事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無断外出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤嚥	3	0	1	0	0	0	4	0	1	0	0	0	9	4	0
誤薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	0
投薬忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
物の返し忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1
持参忘れ	2	1	2	2	1	0	0	1	0	0	0	0	9	0	0
送迎忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車輛事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	2	3	3	5	0	6	6	5	6	2	40	29	5
合計	12	13	13	16	14	15	16	20	19	19	20	18	195	154	54

《はっさむ》

事故内容

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度	R4年度
転倒	0	1	0	1	1	1	0	2	1	1	1	0	9	7	2
転落	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ずり落ち	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	1	1
浴槽内事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
無断外出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投薬忘れ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
物の返し忘れ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	14
持参忘れ	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	4	2	0
送迎忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
車両事故	0	0	6	2	0	8	0	0	0	0	0	2	18	9	1
その他	2	1	0	0	1	2	0	1	3	4	3	2	19	11	1
合計	3	2	7	5	2	11	0	3	5	5	4	8	55	37	21

ヒヤリハット内容

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度	R4年度
転倒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
転落	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ずり落ち	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
浴槽内事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
無断外出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投薬忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
物の返し忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	11	2
持参忘れ	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	4	2	5
送迎忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	3	2	1	2	1	0	0	0	2	1	12	5	16
合計	0	0	3	3	1	3	1	0	0	0	4	2	17	19	26

《北17条》

事故内容

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度	R4年度
転倒	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	7	7
転落	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
ずり落ち	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浴槽内事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無断外出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
誤薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投薬忘れ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
物の返し忘れ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	4	4	1
持参忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
送迎忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	4	2	7
合計	1	1	1	0	2	0	2	0	0	0	2	2	11	14	20

ヒヤリハット内容

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度	R4年度
転倒	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4	6	3
転落	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	3	0	0
ずり落ち	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浴槽内事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無断外出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
誤薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投薬忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
物の返し忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
持参忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
送迎忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
車両事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3
合計	1	1	0	0	3	0	0	1	0	0	0	1	7	12	9

《らいらく》

事故内容

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度	R4年度
転倒	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2	1	1	8	10	6
転落	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
ずり落ち	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浴槽内事故	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
無断外出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
投薬忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
物の返し忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
持参忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
送迎忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車輛事故	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	6	9	0
その他	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2	2	3
合計	0	1	1	2	1	0	2	2	1	2	3	3	18	24	10

ヒヤリハット内容

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度	R4年度
転倒	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	6
転落	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ずり落ち	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3
浴槽内事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
無断外出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
誤薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
投薬忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
物の返し忘れ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	4	0	1
持参忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
送迎忘れ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1
車輛事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	1	2	1	4	3	1	3	2	5	3	1	29	8	18
合計	3	3	2	2	4	3	1	4	2	6	5	2	37	17	32

《清田》

事故内容

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度	R4年度
転倒	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	4	4	2
転落	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
ずり落ち	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	2	3
浴槽内事故	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	2	2
無断外出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤薬	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1
投薬忘れ	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	5	5	3
物の返し忘れ	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3	3	0
持参忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
送迎忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両事故	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3	3	1
その他	1	1	1	0	2	1	1	4	1	0	0	3	15	15	6
合計	2	2	3	1	4	4	1	7	2	0	3	6	35	35	20

ヒヤリハット内容

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度	R4年度
転倒	1	1	2	1	1	0	3	0	0	0	0	2	11	11	20
転落	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ずり落ち	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
浴槽内事故	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	2
無断外出	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	3	2
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
投薬忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
物の返し忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
持参忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
送迎忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両事故	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0	4	4	2
その他	1	0	0	1	0	1	2	2	0	0	0	1	8	8	19
合計	3	1	3	2	2	1	7	3	0	0	2	3	27	27	56

(4) 認知症対応型通所介護

事故内容

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度	R4年度
転倒	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	3	1	0
転落	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
ずり落ち	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浴槽内事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
無断外出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投薬忘れ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3
物の返し忘れ	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	4	0	1
持参忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
送迎忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	0	1	0	0	0	1	0	1	1	1	7	12	5
合計	2	2	2	1	0	2	0	2	0	2	1	1	15	17	10

ヒヤリハット内容

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度	R4年度
転倒	0	0	0	0	1	1	2	0	1	0	0	0	5	4	1
転落	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
ずり落ち	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
浴槽内事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無断外出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投薬忘れ	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	4	0	3
物の返し忘れ	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0
持参忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
送迎忘れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	4	8	9
合計	1	2	1	3	2	1	2	1	1	1	1	2	18	12	14

(5) 認知症対応型共同入所介護

⑤ 事故状況

事故内容

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度	R4年度
転倒	0	0	3	2	4	0	7	2	3	0	2	2	25	22	20
転落	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	3	4	7
ずり落ち	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	5
打撲	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	4	5	7
変色	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
異食	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
器物破損	0	2	4	1	2	2	1	1	0	1	0	0	14	15	29
外傷	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	9	10
誤薬	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	0	1
薬関係	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	3	3
Rt間のトラブル	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	2	2
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
合計	3	3	9	4	6	5	10	3	6	3	4	2	58	62	85

ヒヤリハット内容

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R5年度	R4年度
転倒	8	5	8	6	8	2	6	8	6	2	15	10	84	133	134
転落	1	1	0	1	0	0	0	0	1	1	1	2	8	16	37
ずり落ち	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	6	7
打撲	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	4	3	17
変色	1	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1	5	13	8
誤嚥	2	0	2	4	1	0	1	1	1	3	4	0	19	14	27
異食	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3	11	6
器物破損	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	1	0	8	10	15
外傷	0	4	1	2	0	4	1	2	0	0	0	0	14	9	6
誤薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
薬関係	10	2	20	5	5	12	12	5	4	1	14	2	92	142	168
Rt間のトラブル	0	2	0	3	2	1	0	0	1	0	0	0	9	12	3
その他	5	5	16	7	9	3	6	5	2	4	3	6	71	146	150
合計	28	20	48	34	29	22	27	22	15	12	39	22	318	515	578

4 苦情受付状況

・小樽拠点

【特別養護老人ホームはる 5件】

- 受付年月日 令和6年4月2日
○ 申立人 不詳

苦情内容	対応状況等
女性の方より電話があり「施設の面会がまだ月に1回の面会だけであることについて、他の病院や施設は自由に面会できるようになっており、家族に見られたらマズい手抜きの手配をしているのではないかと不信に思っている」との話がある。	施設長に電話対応を代わり、法人側としては家族の意向や感染状況の確認を行いながら、適切な時期に判断し面会制限の解除は検討している事を伝えるが、一方的に話されるため話し合いは平行線となり、最後まで施設の方針にご理解を得られないまま終話。

- 受付年月日 令和6年9月26日
○ 申立人 長女の夫

苦情内容	対応状況等
誤薬事故があり、経緯と謝罪を長女の夫に電話したところ、「二人で確認してどうして間違えたのか？詳細の説明がほしい」と伝えられる。その後来訪され本人に会い、変わらない様子を見て安心される。 次の日も本人の体調についての連絡をし、改めて謝罪をするが長女より「当事者からの謝罪がない」と話される。	誤薬事故の経緯を説明し、再発防止に努める事を家族にお伝えし理解を頂けたが、当事者からの謝罪を求められたので、今回の事故は当事者というよりは施設全体の責任である事をお伝えし管理者から改めて謝罪をし受け入れられる。

- 受付年月日 令和6年11月7日
○ 申立人 長男・次男

苦情内容	対応状況等
来訪時、「靴を1カ月前に買うと言っていたが買ってない。特に左足の浮腫みがあり、靴下が食い込んでいる。爪が切られておらず伸びていた。今度からはしっかり頼む」と次男は穏やかな口調で話されるが長男は靴のことで対応に不満をと怒り口調で話される。	職員間の連絡ミスにより、対応が遅くなってしまったことを謝罪し早急に注文する事をお伝えし了承される。

- 受付年月日 令和7年1月21日
○ 申立人 長女

苦情内容	対応状況等
------	-------

面会時に母が「〇〇ちゃん」と呼ばれていた。自分の働いている施設では「さん」付で呼ぶ事になっているが、対応としてどうなのかとお話がある。	不快な思いをさせたことを謝罪し、〇〇様、〇〇さんと呼んで関わることを徹底していたが、利用者の反応に応じてアプローチとして〇〇ちゃんと呼んでいた。今後はそういったアプローチを行う際には、その必要性について協議し、必要であると判断された際には、家族にもその経緯を事前に説明し了承を得ることの説明を行い、了承される
---	--

○ 受付年月日 令和7年3月4日

○ 申立人 次女・三女

苦情内容	対応状況等
2月13日に下義歯を飲み込んだ誤飲事故が発生し除去には手術が必要となり当日浜仁会病院に入院となったが、家族から介護5の母親が自分で義歯を外して飲み込むとは思えない。施設側が過失を認めないのであれば弁護士を立てるとの話があった。	施設側として義歯の装着に関しては、食事も摂れており義歯が外れやすい状況にもなく、装着はしていたと考えているが、義歯が確認できなかった時点から義歯誤飲の発見まで時間が掛かったことに対して過失があると考え、病院の治療費等を支払いすることを伝え了承される。

【デイサービスセンターはる 1件】

○ 受付年月日 令和6年7月22日

○ 申立人 長女

苦情内容	対応状況等
DS 浴場で職員介助中に足が滑り転倒、肋骨にひびが入ってしまい、受診には職員付き添いで2度行っただが、2度目の受診時医師より2週間経って痛みが無ければ再受診は必要ないと言われた。その受診結果内容を長女（別居）にも伝えただが、本当に病院へ行かなくてよいのか不安だと連絡を受ける。	本人は認知機能の低下もあり痛みも鈍感、転倒したことも覚えておらず「実際に本当に痛みがないのか」長女にとっては心配と不安であった。医師に相談し、1カ月後に病院を予約し、医師より問題なしと診断され、長女に伝え、「良かった」と安堵していた。

【デイサービスセンターはる小樽稲穂 2件】

○ 受付年月日 令和6年9月26日

○ 申立人 本人・介護支援専門員

苦情内容	対応状況等
利用者より自分のペースで入浴を行うことが出来ない。普段使用している場所に座れない。急がされると落ち着いて入ることができないと訴えがあり。同様訴え介護支援専門員からもあり。	本人と話をする機会を設け今後は可能な限り本人の意向に沿い介助を行うことを伝える。

○ 受付年月日 令和7年3月4日

○ 申立人 利用者

苦情内容	対応状況等
デイサービスの帰りの準備を行っている際、本人がまだ席に座っているにも関わらず背もたれにあったブランケットを何も言われずに取られたとの相談を受ける。	不快な思いをさせてしまったことに謝罪を行う。職員には業務に追われすぎず、利用者対応を優先し、片付け等は利用者がフロアーからいなくなってから行う事を徹底する。

・発寒拠点

【特別養護老人ホームはっさむはる 3件】

○ 受付年月日 令和6年4月23日

○ 申立人 札幌市介護保険課職員

苦情内容	対応状況等
特養入居者の家族と名乗る匿名の方より、施設の面会が制限されている事への不満の苦情があったとの連絡を受ける。	現状の面会対応について確認を受け、1階の面会室にて1時間に1組の予約制として対応。 5月7日より予約制で居室内での面会対応に変更を予定している事も加えて説明する。担当職員より「こちらから指示する事ではないが、対応をお願いします」と伝えられる。 ※匿名であったため謝罪等出来ず。

○ 受付年月日 令和6年9月28日

○ 申立人 長女

苦情内容	対応状況等
面会後に事務所にて、ユニット職員に次回の面会予約をお願いしたが、「空いていない、無理です」との返事だけで態度が悪い、面会についても制限が厳しすぎるとの苦情を受ける。	話を傾聴し、不快なお気持ちにさせたことお詫びし、下記項目に分けて話をする。 ①面会方法については法人にて決めている事であり、施設の一職員でルールを変更する事はできない。止む負えない事情などがある際には、上司に確認・多職種で相談し特例で対応としている。 ②面会の予約は午前中に埋まりやすい傾向である。 ③該当職員は職歴も長く、今回の様なことは他家族から出てきたことはない。 上記説明踏まえ、下記提案。 ・遠方の家族の面会希望のため相談し改めて検討し連絡する。今後その様な場合の面会予約は生活相談員に相談を頂きたい。

	・ 該当職員の面会予約の「対応」に不備はないが、不快に思われた「態度」という点に関しては該当職員に聞取りし、現場責任者に報告する。 長女、提案について了承する。 後日、該当ユニット職員より長女へ、態度や対応について謝罪する。
--	---

○ 受付年月日 令和 7 年 3 月 5 日

○ 申 立 人 匿名

苦情内容	対応状況等
入所している家族（匿名）より西区第 3 地域包括支援センターへ「他の施設では自由に面会出来るのに、ノマド福祉会は制限されている。親は高齢でいつ死ぬか分からないから、もっと面会したいと言っても断られる。面会が予約制では土日はすぐに予約が埋まってしまう。面会を控えているのは何かやましいことがあるのでは？職員と顔なじみになれば、そんなことは思わないだろうけど、今の状態だと余計な事を考えてしまう。一刻も早く制限なく会えるよう、同法人で関係のある包括支援センターから伝えて欲しい。」との苦情相談の連絡を受ける。	電話を受けた包括支援センター職員より、特養職員へ報告すると伝えて終話。匿名であったため、家族への説明等は行えず。引き続き、面会対応については協議していく事とした。

【デイサービスセンターはっさむはる 1 件】

○ 受付年月日 令和 7 年 1 月 8 日

○ 申 立 人 コンビニオーナー

苦情内容	対応状況等
ノマド車両が買い物もせずに 2 時間近く駐車したままになっていると電話をうける。早急に車を移動することを伝え謝罪する。	当該運転者が直接オーナーに謝罪。オーナーより厳重注意、「一言声をかけてくれれば福祉車両なのでいくらでも協力しますから」といわれる。改めて、管理者と主任にて謝罪に行き、職員の指導を徹底する旨を伝える。

【居宅介護支援事業所はっさむはる 1 件】

○ 受付年月日 令和 6 年 12 月 19 日

○ 申 立 人 地域住民

苦情内容	対応状況等
------	-------

利用者宅への訪問時、駐禁ではなく、家族から大丈夫と伺っていた公園横に駐車していたが、「家の前に駐車されて車が出せない」との苦情の電話が入る。 ※駐車場所は、苦情申立者の敷地では無く、車を出すのに影響が無い場所であったが、綺麗に排雪された場所であったため、申立者が排雪し、そこに駐車したことで苦情に繋がった可能性がある。	管理者より訪問中の担当 CM へ連絡。すぐに駐車場所を移動し担当 CM が申立人へ謝罪する。申立人へ謝罪し了承される。駐車できない場合は有料駐車場を使用することを事業内で共有、再発防止を図っている。
---	---

【札幌市西区第3地域包括支援センター 2件】

- 受付年月日 令和6年4月23日
- 申立人 長女の夫

苦情内容	対応状況等
札幌市介護保険課よりセンター長宛てに利用者家族から苦情の申し立てがあったと連絡を受ける。3月28日 14時～ 西区第3地域包括支援センターで妻の母の老人ホームの費用が高かったので転居の相談をした。センター職員は2名対応。面談後、センターに置き忘れたスマートフォンを取りに行き、録音した会話を聞いたところ、自身と妻の誹謗中傷をする発言があり、それを聞いた妻はショックを受けている。札幌市が委託元となると思うが、札幌市として委託先のノマドへはどのような対応になるか、また、利用者（自分たち）への対応はどのような対応となるのか、との事で、市としては事実確認を行い、状況によっては指導、実地指導に入ることもあると伝えている。	同日、統括施設長に報告。統括施設長、統括課長、センター長にて当該職員2名へ事実確認を行い、録音内容は事実であると認める。謝罪のため、24日に長女の夫に連絡するも不在。 4月25日、センター長より再度長女の夫へ謝罪の連絡を行う。「事実をしっかりと把握しているのか、謝罪が遅い」との事で再度事実を精査し、4月26日、再度長女の夫に連絡し、発言内容の詳細について報告、謝罪を行う。法人からの対応を求められていたため、統括施設長が改めて連絡、謝罪するも受入れられない。法人顧問弁護士に相談し、当該職員2名より謝罪の機会を設けることになる。 5月17日、はっさむはるにて長女、長女の夫に対し、統括施設長、センター長、当該職員2名にて謝罪するが受入してもらえない。法務局に相談しているとのことである。 6月24日、法務局人権擁護局より当該職員2名への聞き取り調査が行われる。 12月26日、法務局より、調査の結果、人権侵犯の事実があったとまでは判断することが出来なく、12月24日に侵犯事実不明確の決定がなされると通知が届く。 法人対応（謝罪、職員の処分、センターへの指導、職員のメンタルヘルス）

○ 受付年月日 令和6年6月6日

○ 申立人 西警察署

苦情内容	対応状況等
地域活動の為、公用車を路上に駐車していたところ、近隣住民から警察へ苦情が入り連絡を受ける。	車を移動し警察へ謝罪する。駐車できない場合は有料駐車場を使用することを事業内で共有、再発防止を図っている。

・藤野拠点

【特別養護老人ホームらいらく 2件】

○ 受付年月日 令和6年8月14日

○ 申立人 長女

苦情内容	対応状況等
家族面会時、右手甲に黒い変色を発見し、介護職員に聞いたがベッド柵にぶつけた可能性があるが詳細わからないとの返答だった。「どこでぶつけたかは別として、それをユニット職員が把握していないことが問題なのでは。」とご意見がある。 家族としてはまずは職員がいち早く発見し、職員同士が状況を把握したうえで対応してもらいたい、家族が発見し施設に報告するのではなく事前に施設側から報告をうけたい。	介護職員へ当日の状況を確認し長女へ報告する。右手甲の変色について、介護を担当していた職員は2日前に変色があることを確認しており、その他の職員も変色については認識していたが、ご家族対応をした職員が曖昧な返答になってしまい、家族への報告が遅れてしまったことを謝罪する。

○ 受付年月日 令和6年12月13日

○ 申立人 三女

苦情内容	対応状況等
面会時に介護職員へ話があり、クリアタンスが部屋に見当たらない。また別利用者のバスタオル、下着2枚がタンスに入っており、パジャマのズボンもない。	三女へ不快な思いをさせたことを謝罪する。タンスは探したところ見付き、パジャマのズボンは見つからないため弁償をと申し出るが、弁償は不要と言われ謝罪を受け入れてくれる。

【短期入所生活介護らいらく 1件】

○ 受付年月日 令和7年3月22日

○ 申立人 利用者

苦情内容	対応状況等
利用者より介護職員に、夜間帯トイレに行きたかったが当時対応をした夜勤職員が「まだ寝たばかりで寝てないでしょ。もう少し寝てなさい」	利用者に職員の対応で不快な思いをさせた事について謝罪をする。当該職員については、指導を行い対応することを説明し了承を

いと言われ連れて行ってくれなかった」と話があった。	頂く。 苦情対象となった介護職員については、利用者様の心情を配慮し、配属ユニットの異動をしている。
---------------------------	--

5 会議・委員会実施状況

(1) 会議

・法人全体

会 議 名	出席対象職種	開催回数
居宅拠点合同会議	役職者、主任	12
特養生活相談員拠点会議	生活相談員	1

・小樽拠点

会 議 名	出席対象職種	開催回数
運営会議	役職者	12
入所判定会議	施設長、SW、NS、CW、施設CM、第3者委員、小樽市職員	3
給食会議	施設長、栄養士、厨房業者	4
全体会議	全職員	1

・発寒拠点

会 議 名	出席対象職種	開催回数
運営会議	役職者	12
入所判定会議	施設長、SW、NS、CW、居宅CM、第3者委員	4
給食会議	施設長、SW、NS、DS管理者、栄養士、CW、委託業者	12
全体会議	全職員（派遣以外）	1

・藤野拠点

会 議 名	出席対象職種	開催回数
運営会議	役職者	12
入所判定会議	施設長、SW、NS、CW、居宅CM、第3者委員	19
給食会議	施設長、SW、NS、DS SW、栄養士、CW	12
全体会議	全職員（派遣以外）	1

(3) 委員会

	研修 法人合同	広報 法人合同	事故 防止	身体 拘束 廃止	虐待 防止	苦情 処理	感染 症 予防	褥瘡 予防	防災 BCP	倫理	個人情報 法令遵守	衛生	ポ ラ ン テ ィ ア
小樽	1	1	11	11	11	2	12	12	1	2	1	11	3
発寒			11	11	11	2	12	12	1	4	2	12	
藤野			12	12	12	7	12	12	1	1	1	12	

6 実習生受け入れ状況

・ 発寒拠点

受け入れ期間	学校・専攻科	受入事業所	実習生数
令和6年9月1日～10月1日	大原医療福祉専門学校 介護福祉学科	特別養護老人ホームはっさむはる	2
令和6年9月30日～10月4日	天使大学 看護栄養学部 栄養学科	特別養護老人ホームはっさむはる	2
令和7年2月12日～3月12日	大原医療福祉専門学校 介護福祉学科	特別養護老人ホームはっさむはる	1
令和6年9月30日～10月16日	大原医療福祉専門学校	デイサービスセンターはっさむはる	2
令和7年3月13日～14日	あずみ福祉カレッジ（介護福祉士実務者研修）	デイサービスセンターはっさむはる	1
令和7年3月17日～19日	北海道介護支援専門員実務研修（資格試験合格者）	居宅介護支援事業所はっさむはる	1
令和6年6月12日～7月17日	専門学校北海道福祉・保育大学校	札幌市西区第3地域包括支援センター	1
令和6年10月7日～10月17日	学校法人大原学園大原医療福祉専門学校	札幌市西区第3地域包括支援センター	1
令和6年5月13日、6月5日、25日、9月9日	北海道医療センター附属札幌看護学校	札幌市西区第3地域包括支援センター	12

・ 藤野拠点

受け入れ期間	学校・専攻科	受入事業所	実習生数
令和6年6月3日～6月14日	小樽高等支援学校	デイサービスセンターはる清田	1名
令和6年6月5日	介護支援専門員実務者実習	居宅介護支援事業所らいらく	1名

7 非常時訓練状況

小樽拠点

実施日	実施内容	参加人数
令和6年10月16日	災害BCP研修	19

・ 発寒拠点

実施日	実施内容	参加人数
令和6年9月26日	自然災害研修(地震による停電時のシミュレーション)	5
令和6年10月30日	災害BCP研修(河川氾濫想定避難訓練等)	6

・ 藤野拠点

実施日	実施内容	参加人数
令和6年7月11日	地震時停電による電源確保までの手順確認	8
令和6年11月19日	リスク把握・BCP発動基準の確認	13